

## 若年男女の非正規・無業経験と正規職就業に関する分析

An Analysis on the Japanese Youth's Regular/Non-Regular Employment and  
Unemployment

水落 正明

統計研修所客員研究官

三重大学人文学部准教授

**MIZUOCHI Masaaki**

**SRTI Guest Researcher**

Associate Professor, Faculty of Humanities, Law and Economics,  
Mie University

永瀬 伸子

統計研修所客員教授

お茶の水女子大学大学院人間文化創成科学研究科教授

**NAGASE Nobuko**

**SRTI Guest Professor**

Professor, Graduate School of Humanities and Sciences,  
Ochanomizu University

平成23年1月

January 2011

総務省統計研修所

Statistical Research and Training Institute(SRTI)  
Ministry of Internal Affairs and Communications

論文受理日：平成 22 年 11 月 16 日

- 本ペーパーは、「労働力調査を用いた就業状態、労働時間に関する時系列分析」（永瀬伸子、大森義明、縄田和満、水落正明）をテーマとして行った研究の成果の一部をとりまとめたものである。

本研究では、統計法（平成 19 年法律第 53 号）第 32 条の規定に基づき、労働力調査及び労働力特別調査に係る調査票情報を使用した。

- 本ペーパーは、総務省統計研修所の客員教授が、その責任において行った統計研究の成果を取りまとめたものであり、その内容については、総務省統計局又は統計研修所の見解を表したものではない。

## 目次

### 若年男女の非正規・無業経験と正規職就業に関する分析

1	はじめに	1
2	非正規・無業経験の推移	1
3	正規職就業の推移	2
4	非正規・無業経験及び正規職就業に関する推定	3
4.1	男性の推定結果	4
4.2	未婚女性の推定結果	5
5	おわりに	6
	参考文献	7

### 図表

図 1	非正規・無業経験率（男性、学歴別）	8
図 2	非正規・無業経験率（未婚女性、学歴別）	8
図 3	非正規・無業経験率（男性、地域別）	9
図 4	非正規・無業経験率（未婚女性、地域別）	9
図 5	正規職就業率（男性、学歴別）	10
図 6	正規職就業率（未婚女性、学歴別）	10
図 7	正規職就業率（男性、地域別）	11
図 8	正規職就業率（未婚女性、地域別）	11
表 1	男性（有効求人倍率なし）	12
表 2	男性（正規職就業関数に有効求人倍率）	14
表 3	男性（正規職就業関数、非正規・無業経験関数に有効求人倍率）	16
表 4	未婚女性（有効求人倍率なし）	18
表 5	未婚女性（正規職就業関数に有効求人倍率）	20
表 6	未婚女性（正規職就業関数、非正規・無業経験関数に有効求人倍率）	22
表 7	基本統計量（男性）	24
表 8	基本統計量（女性）	26
表 9	基本統計量（男性、非正規・無業経験者のみ）	28
表 10	基本統計量（女性、非正規・無業経験者のみ）	30



若年男女の非正規・無業経験と正規職就業に関する分析  
An Analysis on the Japanese Youth's Regular/Non-Regular Employment and  
Unemployment

水落正明\* 永瀬伸子†

要旨

本稿では、1988年から2008年までの『労働力調査特別調査』及び『労働力調査』特定調査票の個票データを用いて、若年男女の非正規・無業経験、正規職就業に関する分析を行った。分析の結果、主に以下のことが分かった。①非正規・無業経験について、以前は男女とも最終学歴でそれほど差はなかったが、近年にかけて学歴間の差が大きくなり、高校以下の経験率の上昇が顕著であることが分かった。②こうした非正規・無業経験者のうち、正規職に移行できた確率は、男女とも以前に比べて学歴間の差が減少しつつあることが分かった。③非正規・無業経験からの正規職移行では、大学・大学院卒男性の移行確率が近年にかけて大きく減少していることが明らかになった。

【キーワード】非正規就業・無業経験、正規職への移行、サンプル・セレクション・プロビット

---

\* 三重大学人文学部准教授

† お茶の水女子大学大学院人間文化創成科学研究科教授



## 1 はじめに

近年のわが国の労働市場で問題となっているものとして、一度、非正規就業に就いたり、無業になったりした若年者が、正規職に移行しにくくなっていることがある。このように若年者が正規職に就けないという現象は、公的教育投資、財政、家族形成などの点から問題であり、どのような要因がそうした状況を引き起こしているのか明らかにする必要がある<sup>1</sup>。

そうした問題関心から、永瀬・水落（2009）は『労働力調査』特定調査票の2002~2007年の個票を利用して、若年（34歳以下）男女の非正規・無業経験及び、そうした経験をした若年者の正規職移行確率に関する分析を行った。その結果、近年にかけて非正規・無業経験は増加する一方、正規職への移行確率は低下していることや、限定的ではあるが、ジョブカフェのような政策的サポートが若年者の正規職就業を促進していることなどが明らかになっている。この分析は、おおむね景気回復期のデータを用いたものであった。そこで本稿では、それ以前の景気悪化期も含めた上で、こうした若年者の就業行動に影響を与える影響について明らかにする。

本稿では1988年から2001年までの『労働力調査特別調査』の情報と、2002年から2008年の『労働力調査』特定調査票の情報を利用する。『労働力調査特別調査』は、1998年までは年1回（2月）の調査を行っていたが、1999年から年2回（2、8月）の調査に変更された。その後、2002年から『労働力調査』に統合され、特定調査票として毎月、調査が行われている。そこで本稿では、1999年以降については2月調査のサンプルのみを使用して分析を行う。そのため、毎月調査が行われるようになった2002年以降は2月のサンプル数が減少している。本稿の分析対象で見ると、それ以前に比べて4分の1程度となっている。本稿の分析では、2002年以降、データのばらつきが大きくなっている部分があり、このサンプル数の少なさが原因とも考えられるが、すべての事象についてこうした減少が確認されているわけではない。

本稿の分析対象は、永瀬・水落（2009）と同じように、34歳以下の男女を用いることとする。男性は配偶状態で区別しないが、女性については未婚者のみを対象とする。これは、有配偶女性では非正規・無業を経験した場合でも、正規職への就業を希望しない場合が多くいることが考えられ、正規職への移行の分析を攪乱すると考えられるためである。男性サンプルは106,919、未婚女性サンプルは51,196である。

## 2 非正規・無業経験の推移

本節では非正規・無業経験の推移を記述的に見る。なお、本稿での非正規・無業経験とは、調査時点から過去1年間に非正規就業や無業の経験が1度でもあった場合を指している。図1と図2は学歴別の推移であり、図3と図4は地域別の推移を示している。いずれ

---

<sup>1</sup> 例えば家族形成については、水落（2006）は初職で正規職に就けなかった男性は、結婚タイミングが遅くなることを明らかにしている。

の数値もウェイトをかけて算出している。

最初に学歴別の非正規・無業経験率である。

図 1 は男性の推移を見たものである。既に述べたように配偶状態（有配偶、未婚、離死別）については分けていない。図を見ると、1997 年辺りまでは経験率はそれほど上昇せず 10%の辺りを前後していた。さらに、学歴間に大きな差はないことも分かる。1998 年以降になると、経験率が大きく上昇し始め、学歴間の差も大きくなっている。この時期はアジア通貨危機にともない、再び就業状況が悪化した時期に当たっている。その後の 2000 年代の推移を見ると、高校以下が最も高く 30%に達している。短大・高専と大学・大学院は 15～20%の辺りを推移しており、大学・大学院のほうが割合がやや高く推移していることが分かる。

図 2 は未婚女性の推移である。男性と同じく 1997 年辺りまでは安定していた。水準は男性よりやや高く 20%前後を推移していたが、1998 年以降、大きく上昇し始めたことが分かる。2000 年代に入ってから、男性と同様に高校以下が最も高くなっており、約 60%に達している。短大・高専と大学・大学院は明確な差はなく 30～40%を推移していることが分かる。いずれの学歴においても男性の約 2 倍の経験率になっている。

続いて地域別の非正規・無業経験率を見る。

図 3 は男性の推移を示している。学歴別の推移で見たように、1997 年辺りまでは安定して推移している。また、東北、北陸、南関東、東海が相対的に低めで推移している。北海道、北関東・長野・山梨、九州・沖縄でやや高い。2000 年代に入ってから変動が大きくなり、明瞭な傾向は分かりにくくなっているが、東海地方は比較的低いことが多いように見える。

図 4 は未婚女性の推移である。2000 年以前では北陸や南関東が低めに推移し、北海道、北関東・長野・山梨、近畿、九州・沖縄でやや高いことが分かる。2000 年代に入ってから推移には、一定の傾向を見出すことは難しいが、男性と同様に東海が低いことは確認できる。

### 3 正規職就業の推移

前節では、非正規・無業の経験率について見たが、ここでは、そうした非正規・無業状態を経験したもののうち、その後（調査時点）で正規職に就業できた割合について見ていく。図 5 と図 6 は学歴別の推移であり、図 7 と図 8 は地域別の推移を示している。この数値の算出についてもウェイトを用いている

図 5 は男性の推移である。いずれの学歴においても低下傾向にあることが分かる。また、2000 年代より以前は、学歴間の差が大きかったが、2000 年代に入ると、そうした差は小さくなっている。正規職への移行割合が高いのは大学・大学院で、1990 年代は約 70%と高い率であったが、2000 年代では 30%前後と大きく低下している。続いて短大・高専が高く、1990 年代は 50%前後だったが 2000 年代は 10～20%となり、高校以下とほぼ変わらない

水準になっている。その高校以下が割合が最も低く、1990年代は30%前後で、2000年代は10%前後になっている。

図6は未婚女性の推移を見たものである。いずれの学歴においても低下傾向にあるのは男性と同様であるが、男性に比べると、全期間を通して学歴間の差は少ないことがわかる。大学・大学院と短大・高専はおおむね同程度の水準を示しており、1990年代前半は30~40%で、2000年代に入ってから10~20%で推移している。高校以下はやや低く、1990年代前半は20~30%、2000年代に入ってから10%を切っており、かなり低い水準になっている。

図7は男性の地域別に見た推移、図8は未婚女性の地域別に見た推移である。この図から明確な傾向を見出すのは難しいが、いずれの地域においても低下傾向であることは見て取れる。男女とも、東海や北陸でやや高い割合で推移していることがうかがえる。

#### 4 非正規・無業経験及び正規職就業に関する推定

さて、本稿の主要な関心は、非正規・無業に陥った若者が正規職に移行するのに影響する要因を探ることである。その際、非正規・無業経験者のみを分析に用いた場合、推定結果に偏りが生じる。つまり、非正規・無業に陥る若者は一定の傾向を有していると考えられ、そうした集団としての偏りを考慮して分析する必要がある。そこで本稿では、以下に示したサンプル・セレクション・プロビットで推定を行う。

$$y_{1j} = 1[\mathbf{x}_j\boldsymbol{\beta} + u_{1j} > 0] \quad (1)$$

$$y_{2j} = 1[\mathbf{z}_j\boldsymbol{\gamma} + u_{2j} > 0] \quad (2)$$

$$u_1 \sim N(0,1)$$

$$u_2 \sim N(0,1)$$

$$\text{corr}(u_1, u_2) = \rho$$

ここで(2)式は第1段階のセレクション式で、 $\mathbf{z}$ は説明変数の行ベクトル、 $\boldsymbol{\gamma}$ はパラメータの列ベクトルである。 $y_2$ はここ1年で非正規または無業であった場合に1、そうでない場合は0をとる。(1)式の推定では、 $y_2$ が1のサンプルのみが用いられる。 $\mathbf{x}$ は説明変数の行ベクトル、 $\boldsymbol{\beta}$ はパラメータの列ベクトルである。 $y_1$ は、正規職についている場合に1、そうでない場合に0をとる。 $\rho$ は誤差項間の相関係数である。以上から、推定に用いる対数尤度関数は次のように示される<sup>2</sup>。

$$\ln L = \sum_{\substack{j \in S \\ y_{1j}=1}} \ln \Phi_2(\mathbf{x}_j\boldsymbol{\beta}, \mathbf{z}_j\boldsymbol{\gamma}; \rho) + \sum_{\substack{j \in S \\ y_{1j}=0}} \ln \Phi_2(-\mathbf{x}_j\boldsymbol{\beta}, \mathbf{z}_j\boldsymbol{\gamma}; \rho) + \sum_{j \notin S} \ln \{1 - \Phi(\mathbf{z}_j\boldsymbol{\gamma})\}$$

ここで $S$ は $y_2$ が1、つまり $y_1$ が観察された集合である。 $\Phi_2$ は2変量標準正規分布関数、 $\Phi$ は標準正規分布関数である。

<sup>2</sup> Van de Ven and Van Pragg (1981)などを参照。

具体的には、第 1 段階として非正規・無業経験関数を推定し、第 2 段階では非正規・無業を経験したもののみを対象に、そうした経験のしやすさを考慮して推定を行う。第 1 段階（非正規・無業経験関数）の説明変数には学歴、年齢、配偶状態、調査年、地域を用いる。第 2 段階（正規職就業関数）の推定では、推定の効率上、第 1 段階の説明変数の一部を使用する。また、学歴で区別しない全サンプル、学歴別（高校以下、短大・高専、大学、大学院）の推定を行った。

説明変数に使用する有効求人倍率については、回答者の居住都道府県別に調査月（2 月）の数値を外挿している。また、本稿では、有効求人倍率を使用しない推定（表 1、4）と、第 2 段階のみに外挿した推定（表 2、5）、第 1、2 段階ともに外挿した推定（表 3、6）を行った。

#### 4.1 男性の推定結果

ここでは、第 1 段階、第 2 段階の推定とともに有効求人倍率を使用した表 3 の推定結果について述べる。

最初に非正規・無業経験関数の推定結果（表 3 の下半分）である。

全サンプルの学歴変数を見ると、短大・高専の係数は負で有意であり、高校以下に比べて非正規・無業を経験しにくい。それに対して大学・大学院の係数は正で有意であり、高校以下に比べて経験しやすいという結果になっている。図 1 では全期間を通して大学・大学院のほうが経験率が低く推移しているように見えたが、年齢や配偶状態、年、地域などをコントロールすると高校以下より非正規・無業を経験しやすいことが分かった。

年齢に関しては、全サンプル及びどの学歴でも、おおむね年齢が高くなるほど非正規・無業を経験しにくくなっているという結果が得られている。

有効求人倍率は全サンプルと高校以下で係数が負で有意となっている。短大・高専、大学・大学院では有意ではないが負の係数となっている。地域の労働需要が高い場合に非正規・無業を経験しにくい傾向が見てとれ、それは、高校以下という低い学歴で大きく影響していることが分かった。

配偶状態については、未婚、離死別ともいずれの学歴においても正で有意であり、有配偶者に比べて、非正規・無業を経験しやすいことが明らかになった。これに関しては非正規・無業経験によって、配偶状態が変化するという逆の因果関係の影響もあると考えられる。

年の効果については、高校以下と短大・高専で 1994～1996 年を底にその前後で経験率が高いことが分かる。特に近年にかけて経験率が大きく上昇していることが分かる。大学・大学院は、そうした底はないが、他の学歴と同様に 1997 年以降、急激に経験率が上昇していることが分かる。

地域の影響について見ると、いずれの学歴においても、北陸の係数が負の値として最も大きく、非正規・無業を経験しにくい地域であることが分かる。その他の地域では明確な

傾向はないが、南関東や東海では経験しにくいように見える。

続いて正規職就業関数の推定結果（表 3 の上半分）について述べる。

全サンプルで最終学歴の影響を見ると、短大・高専、大学・大学院とも正で有意となっており、これらの学歴は高校以下に比べると、正規職に就きやすいことが分かる。係数の大きさを比較すると、大学・大学院のほうが大きく、より高学歴であるほうが正規職に移行しやすいことも分かった。

年齢については、いずれの学歴においても年齢が上がるほど正規職につきにくくなっていることが分かる。

有効求人倍率は大学・大学院でのみ有意で係数は正であった。地域の労働市場の需要が高い場合、それは高学歴者の就業に影響が出やすいことが分かる。ただし、これは、非正規・無業経験の推定と逆の結果となっており、学歴と労働市場の関係については、今後、詳細に分析する必要がある。

年の効果については、高校以下と短大・高専ではトレンドはないように見えるが、大学・大学院では、近年になるほど正規職につきにくくなっていることが分かる。近年の労働市場の悪化の影響を最も受けているのが高学歴層であることが明らかになった。

## 4.2 未婚女性の推定結果

ここでは、未婚女性の推定結果に就いて述べるが、男性と同様に、第 1 段階、第 2 段階ともに有効求人倍率を使用した表 6 の推定結果について述べる。

最初に非正規・無業経験関数の推定結果（表 6 の下半分）である。

全サンプルで学歴の影響を見ると、短大・高専、大学・大学院ともに係数は負で有意である。つまり、これらの学歴は高校以下に比べて非正規・無業を経験しにくいことを示している。係数の大きさを比較すると短大・高専のほうが絶対値として大きく、大学・大学院よりも非正規・無業を経験しにくいことが分かる。一般に高学歴のほうが非正規・無業になりにくいと考えられるが、この推定結果からは必ずしもそうとは言えないことが示されている。

年齢の効果については、高校以下と短大・高専では 23-26 歳辺りを底にその前後で、非正規・無業を経験しやすい傾向にあることが分かる。それに対して、大学・大学院では年齢が高い方が非正規・無業を経験しにくいという結果となっており、他の学歴とは異なる傾向を示している。

有効求人倍率の係数を見るといずれも負であり、地域の労働需要が高い場合、非正規・無業の経験率が低くなることが分かる。ただし、有意なのは高校以下と短大・高専であり、大学・大学院では有意になっていない。

年の影響については、いずれの学歴でもおおむね近年になるほど非正規・無業を経験しやすくなっているという結果になっている。

地域について見ると、男性と同様に南関東、北陸、東海で非正規・無業を経験しにくく

なっていることが示されている。

続いて正規職就業関数の推定結果（表 6 の上半分）について述べる。

全サンプルで学歴の影響を見ると、短大・高専、大学・大学院とも正で有意となっている。これらの学歴では高校以下に比べて正規職につきやすいことが分かる。係数の大きさを比較すると、大学・大学院のほうが大きく、より高学歴のほうが正規職につきやすい現状が見て取れる。

年齢の影響を見ると、短大・高専では影響はやや弱い、高校以下と大学・大学院では年齢が上がるほど正規職につきにくくなっていることが分かる。

有効求人倍率は、短大・高専で負の係数で有意となっている。地域の労働需要が高いと正規職につきにくいという結果は理解が難しい。ただし、水準は 10% であり、他の学歴では有意ではないため、確定的な結果とは言えないだろうが、今後、確認の必要な部分でもあろう。

年の影響については、いずれの学歴においても明確なトレンドがあるというわけではなく、より正規職につきにくくなっているとは言えないことが分かる。

## 5 おわりに

本稿では、1988 年から 2008 年までの『労働力調査特別調査』及び『労働力調査』特定調査票の個票データを用いて、若年男女の非正規・無業経験、正規職就業に関する推定を行った。

記述的な分析からは、非正規・無業経験について、以前は男女とも最終学歴でそれほど差はなかったが、近年にかけて学歴間の差が大きくなり、高校以下の経験率の上昇が顕著であることが分かった。また、地域では、男性は東北、北陸、南関東、東海が相対的に低めで推移し、未婚女性は北陸や南関東、東海が低めに推移していることが分かった。正規職就業率については、男女とも以前に比べて学歴間の差が縮まりつつあることが分かった。これは、非正規・無業経験とは逆の傾向であり興味深い。地域別では、男女とも東海や北陸でやや高い割合で推移していた。

推定の結果から、男性の非正規・無業経験については、短大・高専は高校以下に比べて非正規・無業を経験しにくい、大学・大学院は高校以下に比べて経験しやすいことが分かった。そのほか、有効求人倍率に負の影響があり、地域の労働市場の状態が良いと非正規・無業を経験しにくい傾向が見てとれ、また、それは高校以下という低い学歴で大きく影響していることが分かった。年の効果については、近年にかけて経験率が大きく上昇していることが分かった。正規職就業については、短大・高専、大学・大学院とも高校以下に比べると、正規職に就きやすく大学・大学院のほうが効果が大きく、高学歴のほうが正規職につきやすいことも分かった。有効求人倍率は大学・大学院でのみ正の影響があり、労働市場の状態が良い場合、高学歴に影響が出やすいことが分かった。年の効果については、高校以下と短大・高専ではトレンドはないように見えるが、大学・大学院では、近年

になるほど正規職につきにくくなっていることが分かる。近年の労働市場の悪化の影響を最も受けているのが高学歴層であることが明らかになった。

未婚女性については、非正規・無業経験関数の推定結果について簡単にまとめると以下のようになる。短大・高専、大学・大学院とも、高校以下に比べて非正規・無業を経験しにくい、短大・高専のほうが大学・大学院よりも経験しにくいことが分かった。有効求人倍率には負の影響があり、地域の労働需要が多い場合、非正規・無業の経験が低くなることが分かる。年の影響については、近年になるほど非正規・無業を経験しやすくなっている。正規職就業については、短大・高専、大学・大学院とも高校以下に比べて正規職に就きやすく、大学・大学院のほうが正規職に就きやすい。年の影響については、近年にかけて正規職に就きにくくなっているとは言えないことが分かった。

今回の分析から特に注目されるのは、高学歴男性の就業に大きな問題が生じていることである。具体的には、高学歴男性の非正規・無業プールから正規職への移行の確率が近年にかけて大きく減少している。これは、大学新卒時の正規職就業を逃した場合、その後の正規職就業が難しくなってきたことが実際のデータから確認されたと言える。大学・大学院卒という人的資本投資に見合った仕事がないことが原因の一つであろう。これは、それまでの人的資本形成に対する公的支出から見ても損失であり、何らかの対策が必要であろう。また、既に述べたように、家族形成からもそうした対策が必要とも言える。

## 謝辞

本稿は総務省統計研修所におけるマイクロデータ共同利用研究の成果の一部をまとめたものである。研究の実施に当たって、ご協力をいただいた総務省統計研修所研究官室の孕石真浩氏をはじめ関係各位に感謝の意を表したい。

## 参考文献

- 永瀬伸子・水落正明（2009）「若年層は経済回復期に安定雇用に移行できたか」総務省統計研修所リサーチペーパーNo.17.
- 水落正明（2006）「学卒直後の雇用状態が結婚タイミングに与える影響」『生活経済学研究』No.22-23, pp.167-176.

図1 非正規・無業経験率（男性、学歴別）

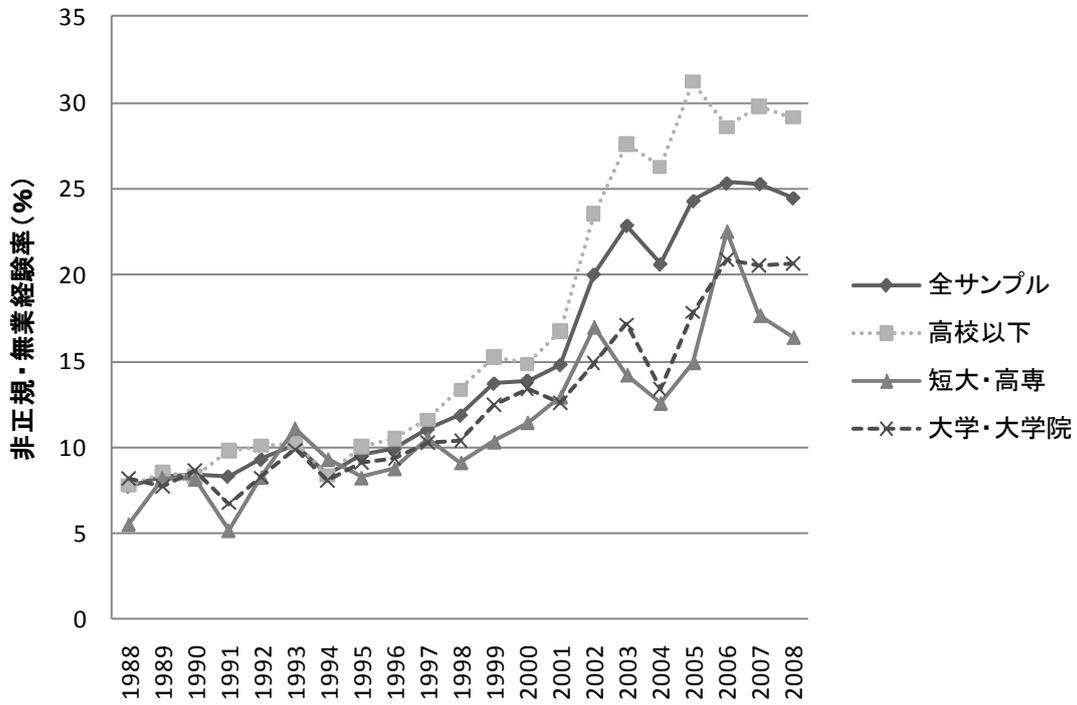


図2 非正規・無業経験率（未婚女性、学歴別）

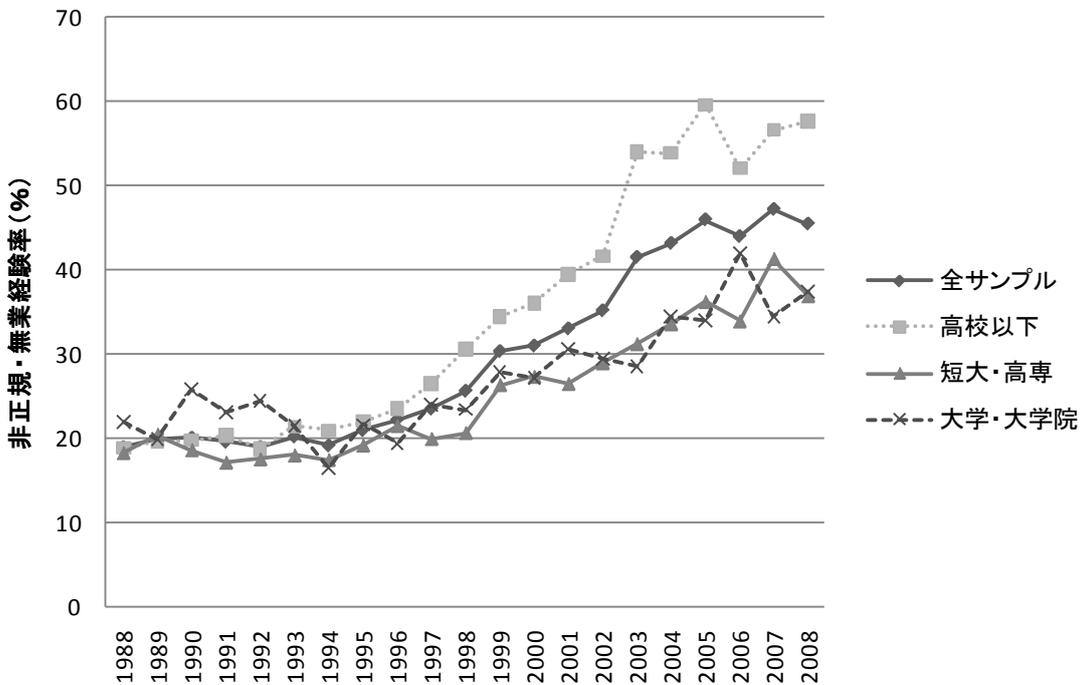


図3 非正規・無業経験率（男性、地域別）

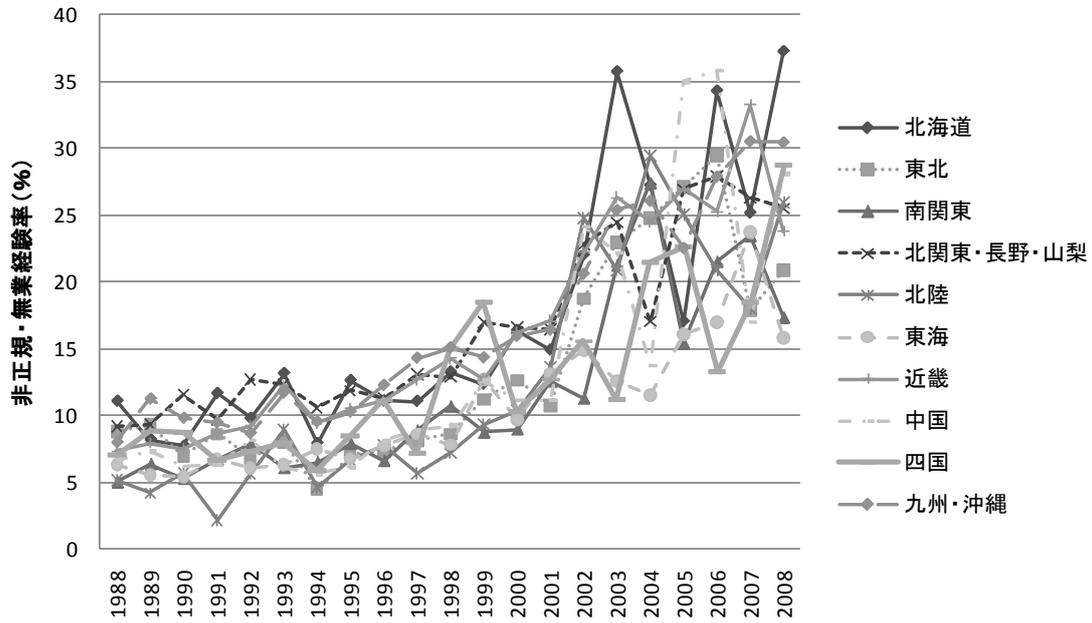


図4 非正規・無業経験率（未婚女性、地域別）

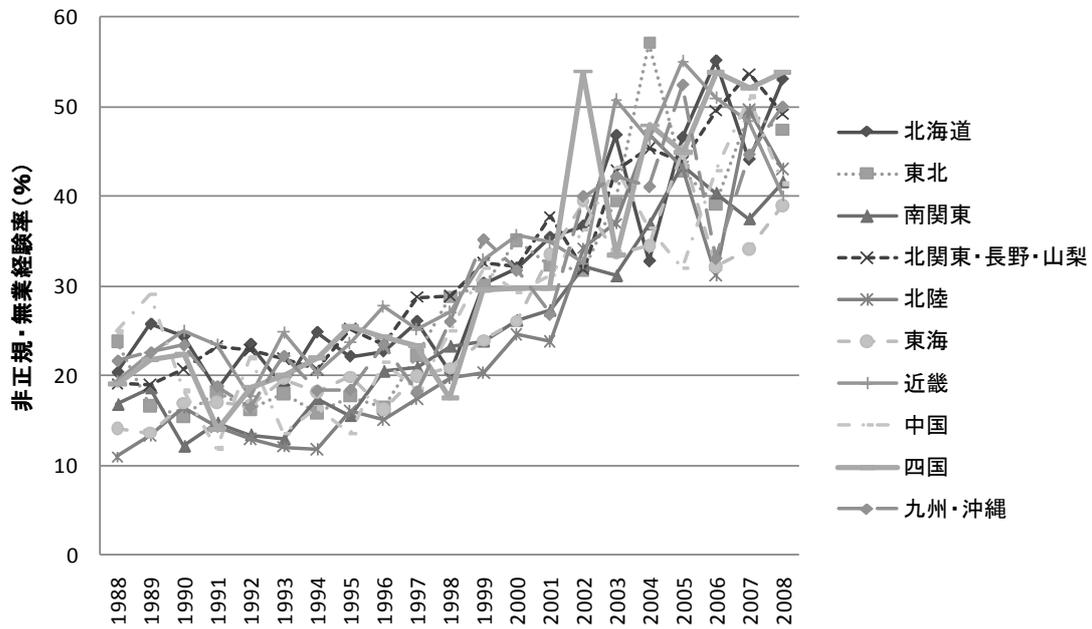


図5 正規職就業率（男性、学歴別）

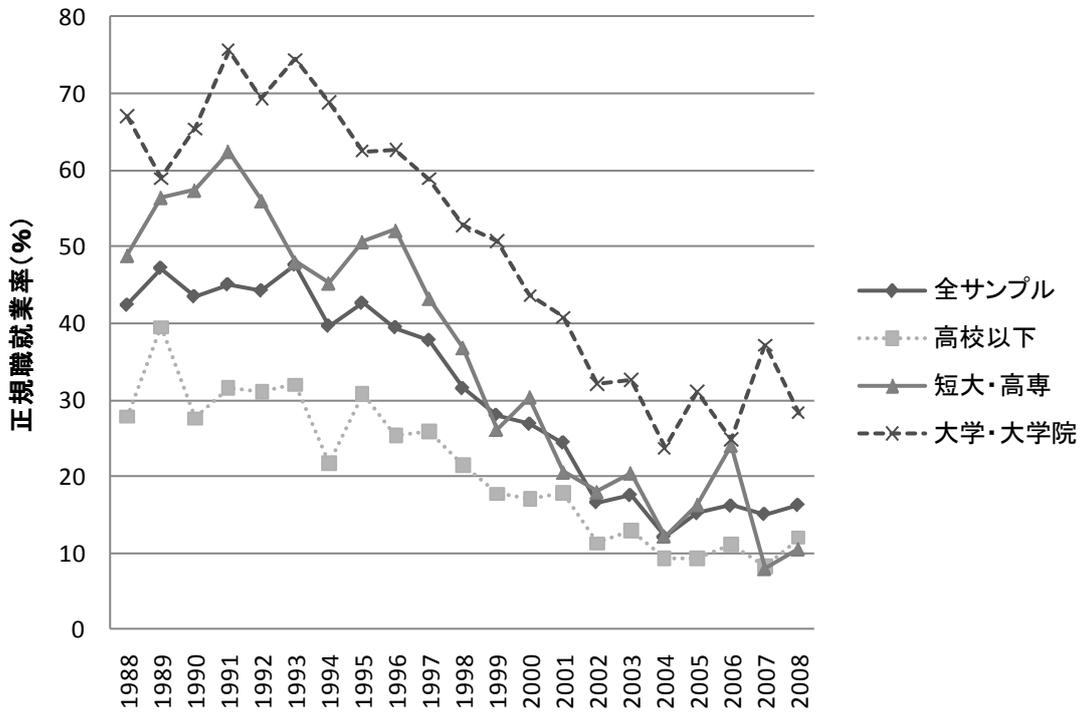


図6 正規職就業率（未婚女性、学歴別）

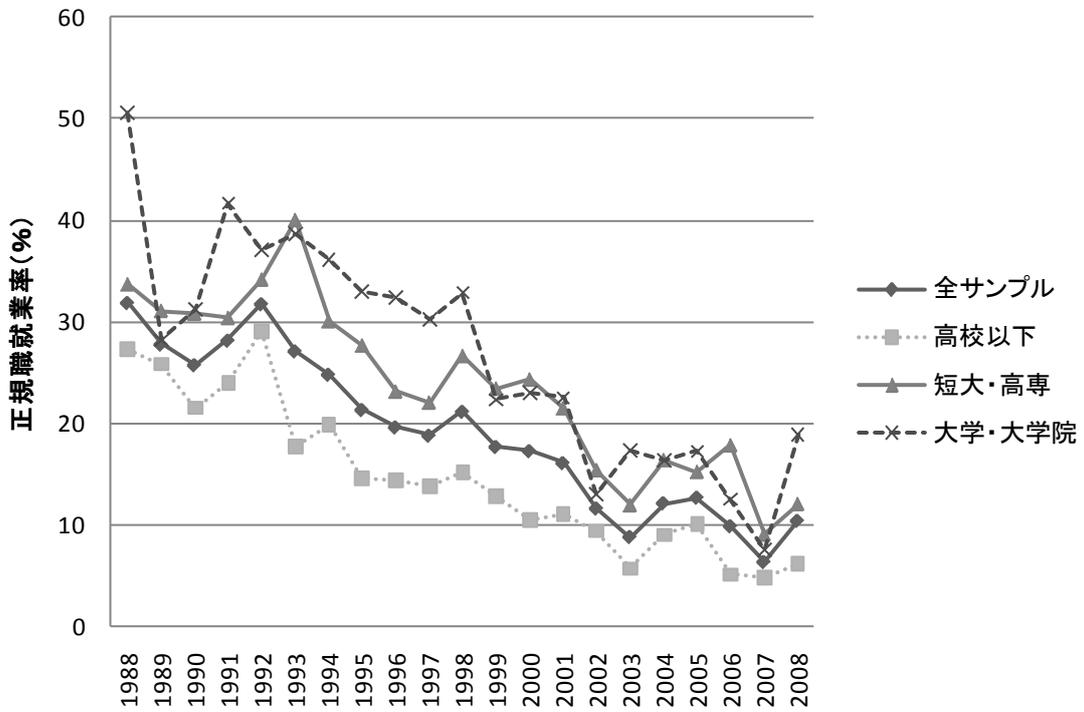


図7 正規職就業率（男性、地域別）

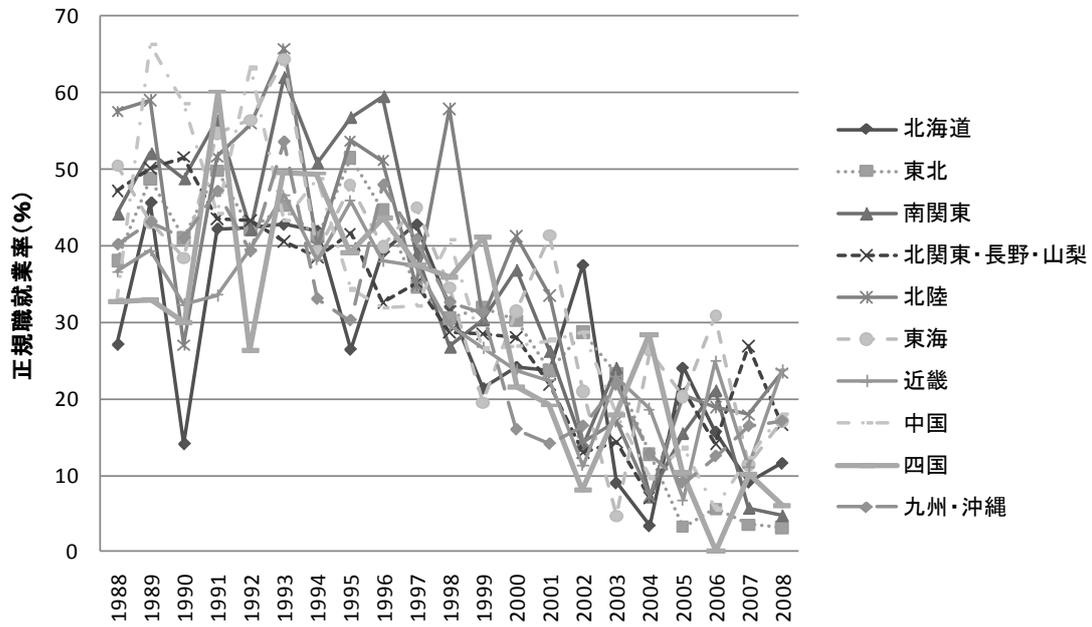


図8 正規職就業率（未婚女性、地域別）

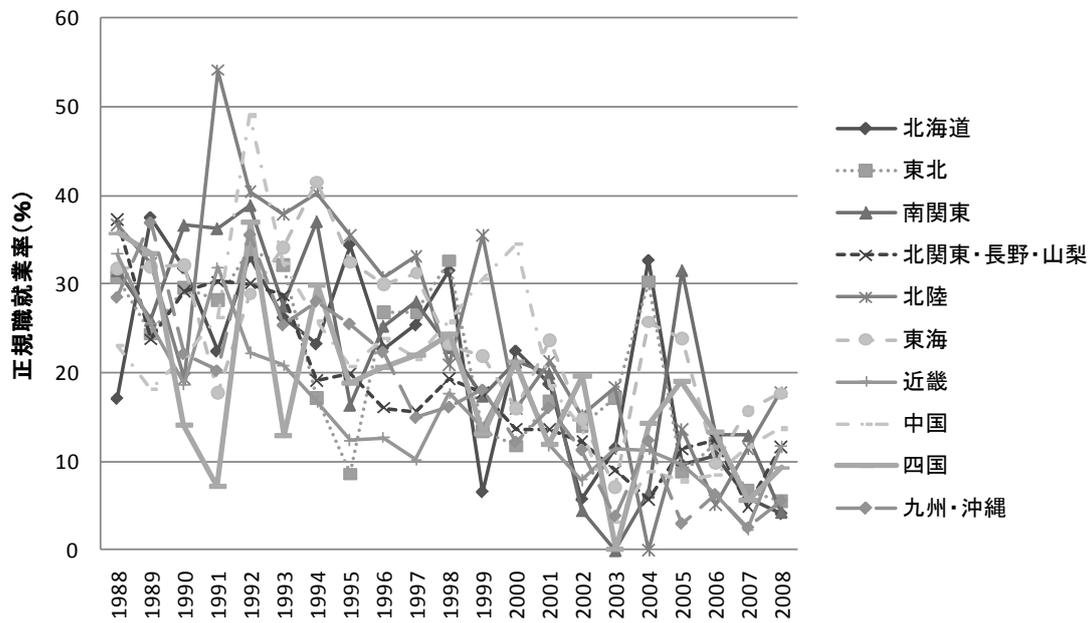


表1 男性（有効求人倍率なし）

	全サンプル		高校以下		短大・高専		大学・大学院	
	係数	SE	係数	SE	係数	SE	係数	SE
<正規職就業関数>								
学歴（ベース高校以下）								
短大・高専	0.316	0.038	***					
大学・大学院	0.861	0.033	***					
年齢（ベースは25-26歳）								
20歳以下	0.429	0.047	***	0.557	0.054	***		
21-22歳	0.372	0.039	***	0.410	0.049	***	0.992	0.103
23-24歳	0.381	0.033	***	0.249	0.051	***	0.490	0.099
27-28歳	-0.377	0.041	***	-0.114	0.058	†	-0.274	0.136
29-30歳	-0.516	0.048	***	-0.191	0.064	**	-0.475	0.151
31-32歳	-0.614	0.053	***	-0.340	0.070	***	-0.246	0.152
33-34歳	-0.672	0.056	***	-0.363	0.070	***	-0.560	0.185
年（ベースは1988年）								
1989年	0.092	0.067		0.201	0.081	*	0.406	0.238
1990年	-0.012	0.066		-0.029	0.083		0.429	0.233
1991年	0.175	0.066	**	0.206	0.079	**	0.242	0.247
1992年	0.091	0.065		0.103	0.081		0.257	0.238
1993年	0.178	0.064	**	0.198	0.080	*	0.293	0.230
1994年	-0.080	0.066		-0.167	0.086	†	0.102	0.235
1995年	0.047	0.065		0.130	0.081		0.175	0.231
1996年	0.013	0.064		0.020	0.081		0.385	0.225
1997年	-0.016	0.064		0.064	0.079		0.173	0.226
1998年	-0.064	0.065		0.039	0.080		0.007	0.236
1999年	-0.103	0.065		-0.013	0.081		-0.095	0.242
2000年	-0.123	0.067	†	-0.020	0.083		0.055	0.242
2001年	-0.175	0.069	*	0.019	0.082		-0.168	0.263
2002年	-0.252	0.091	**	-0.072	0.110		-0.105	0.316
2003年	-0.179	0.093	†	-0.029	0.111		-0.053	0.318
2004年	-0.308	0.100	**	-0.090	0.115		-0.363	0.346
2005年	-0.228	0.097	*	-0.073	0.121		-0.119	0.323
2006年	-0.216	0.098	*	-0.017	0.117		0.048	0.325
2007年	-0.201	0.100	*	-0.068	0.124		-0.238	0.349
2008年	-0.220	0.100	*	-0.008	0.123		-0.267	0.365
定数項	-1.577	0.080	***	-1.803	0.090	***	-1.701	0.330
<非正規・無業経験関数>								
学歴（ベース高校以下）								
短大・高専	-0.135	0.018	***					
大学・大学院	0.040	0.013	**					
年齢（ベースは25-26歳）								
20歳以下	0.668	0.025	***	0.750	0.028	***		
21-22歳	0.336	0.020	***	0.387	0.025	***	0.611	0.057
23-24歳	0.274	0.018	***	0.160	0.025	***	0.252	0.050
27-28歳	-0.211	0.019	***	-0.025	0.027		-0.227	0.060
29-30歳	-0.294	0.021	***	-0.103	0.028	***	-0.201	0.063
31-32歳	-0.324	0.022	***	-0.157	0.030	***	-0.229	0.067
33-34歳	-0.322	0.022	***	-0.117	0.030	***	-0.265	0.072
配偶状態（ベースは有配偶）								
未婚	0.685	0.015	***	0.694	0.019	***	0.571	0.047
離死別	0.550	0.063	***	0.562	0.071	***	0.453	0.212
年（ベースは1988年）								
1989年	0.064	0.034	†	0.081	0.042	†	0.221	0.126
1990年	0.022	0.033		0.016	0.042		0.239	0.126
1991年	-0.003	0.033		0.051	0.041		-0.026	0.127
1992年	0.078	0.033	*	0.085	0.042	*	0.237	0.123
1993年	0.087	0.033	**	0.068	0.042		0.272	0.119
1994年	0.022	0.033		0.021	0.042		0.173	0.119
1995年	0.077	0.033	*	0.072	0.042	†	0.165	0.119
1996年	0.109	0.032	**	0.112	0.041	**	0.148	0.118

（次ページに続く）

1997年	0.186	0.032	***	0.196	0.041	***	0.354	0.115	**	0.132	0.061	*
1998年	0.219	0.032	***	0.250	0.040	***	0.232	0.117	*	0.169	0.061	**
1999年	0.324	0.031	***	0.391	0.039	***	0.320	0.116	**	0.229	0.060	***
2000年	0.354	0.032	***	0.383	0.040	***	0.392	0.114	**	0.282	0.060	***
2001年	0.433	0.031	***	0.491	0.040	***	0.537	0.111	***	0.279	0.061	***
2002年	0.594	0.042	***	0.665	0.052	***	0.757	0.134	***	0.360	0.084	***
2003年	0.706	0.043	***	0.813	0.053	***	0.628	0.144	***	0.475	0.090	***
2004年	0.642	0.044	***	0.778	0.053	***	0.598	0.150	***	0.313	0.094	**
2005年	0.758	0.044	***	0.889	0.056	***	0.672	0.142	***	0.547	0.084	***
2006年	0.819	0.044	***	0.862	0.056	***	0.928	0.140	***	0.715	0.086	***
2007年	0.836	0.045	***	0.919	0.057	***	0.776	0.142	***	0.708	0.091	***
2008年	0.813	0.045	***	0.913	0.059	***	0.867	0.144	***	0.624	0.087	***
地域(ベースは九州・沖縄)												
北海道	-0.027	0.028		0.016	0.035		-0.218	0.083	**	-0.025	0.064	
東北	-0.227	0.024	***	-0.244	0.029	***	-0.144	0.076	†	-0.175	0.055	**
南関東	-0.303	0.024	***	-0.299	0.030	***	-0.508	0.073	***	-0.174	0.051	**
北関東・長野・山梨	-0.014	0.019		0.074	0.024	**	-0.154	0.056	**	-0.086	0.038	*
北陸	-0.338	0.027	***	-0.330	0.033	***	-0.522	0.084	***	-0.271	0.057	***
東海	-0.316	0.022	***	-0.314	0.028	***	-0.421	0.069	***	-0.259	0.045	***
近畿	-0.052	0.021	*	-0.016	0.026		-0.167	0.064	*	-0.067	0.042	
中国	-0.242	0.026	***	-0.233	0.032	***	-0.463	0.090	***	-0.165	0.054	**
四国	-0.144	0.030	***	-0.122	0.037	**	-0.213	0.091	*	-0.173	0.063	**
定数項	-1.728	0.033	***	-1.869	0.042	***	-1.788	0.121	***	-1.515	0.063	***
$\rho$	0.618		***	0.677		***	0.676		**	0.416		**
対数尤度	-40768			-25113			-4336			-10640		
サンプル数	106919			62692			12229			31998		
非打ち切りサンプル数	12958			8303			1293			3362		

\*\*\*:  $p < 0.001$ , \*\*:  $p < 0.01$ , \*:  $p < 0.05$ , †:  $p < 0.1$ .

表2 男性（正規職就業関数に有効求人倍率）

	全サンプル		高校以下		短大・高専		大学・大学院	
	係数	SE	係数	SE	係数	SE	係数	SE
<正規職就業関数>								
学歴（ベース高校以下）								
短大・高専	0.325	0.039	***					
大学・大学院	0.873	0.034	***					
年齢（ベースは25-26歳）								
20歳以下	0.413	0.049	***	0.554	0.055	***		
21-22歳	0.365	0.039	***	0.408	0.049	***	0.987	0.108 ***
23-24歳	0.377	0.033	***	0.249	0.051	***	0.490	0.102 ***
27-28歳	-0.377	0.042	***	-0.114	0.058	†	-0.269	0.141 †
29-30歳	-0.512	0.049	***	-0.190	0.064	**	-0.474	0.157 **
31-32歳	-0.611	0.054	***	-0.340	0.070	***	-0.233	0.160
33-34歳	-0.668	0.057	***	-0.363	0.070	***	-0.553	0.193 **
有効求人倍率	0.085	0.037	*	0.021	0.043		0.098	0.134
年（ベースは1988年）								
1989年	0.064	0.069		0.194	0.083	*	0.381	0.249
1990年	-0.058	0.070		-0.041	0.086		0.393	0.247
1991年	0.126	0.070	†	0.194	0.083	*	0.185	0.265
1992年	0.059	0.068		0.094	0.082		0.230	0.251
1993年	0.182	0.066	**	0.199	0.080	*	0.295	0.238
1994年	-0.059	0.068		-0.164	0.086	†	0.129	0.243
1995年	0.070	0.067		0.136	0.082	†	0.203	0.242
1996年	0.032	0.066		0.024	0.082		0.421	0.237 †
1997年	-0.005	0.065		0.066	0.080		0.182	0.234
1998年	-0.046	0.067		0.044	0.081		0.027	0.244
1999年	-0.079	0.067		-0.008	0.082		-0.076	0.248
2000年	-0.103	0.069		-0.015	0.084		0.072	0.247
2001年	-0.170	0.070	*	0.021	0.083		-0.181	0.271
2002年	-0.237	0.093	*	-0.068	0.111		-0.108	0.323
2003年	-0.173	0.094	†	-0.026	0.112		-0.057	0.327
2004年	-0.316	0.101	**	-0.092	0.115		-0.387	0.357
2005年	-0.253	0.099	*	-0.078	0.122		-0.158	0.337
2006年	-0.254	0.101	*	-0.026	0.118		-0.019	0.355
2007年	-0.237	0.104	*	-0.076	0.126		-0.288	0.375
2008年	-0.249	0.103	*	-0.013	0.123		-0.317	0.386
定数項	-1.614	0.084	***	-1.814	0.094	***	-1.710	0.346 ***
<非正規・無業経験関数>								
学歴（ベース高校以下）								
短大・高専	-0.135	0.018	***					
大学・大学院	0.040	0.013	**					
年齢（ベースは25-26歳）								
20歳以下	0.668	0.025	***	0.750	0.028	***		
21-22歳	0.336	0.020	***	0.387	0.025	***	0.611	0.057 ***
23-24歳	0.274	0.018	***	0.160	0.025	***	0.252	0.050 ***
27-28歳	-0.210	0.019	***	-0.025	0.027		-0.227	0.060 ***
29-30歳	-0.294	0.021	***	-0.103	0.028	***	-0.201	0.063 **
31-32歳	-0.324	0.022	***	-0.157	0.030	***	-0.227	0.067 **
33-34歳	-0.322	0.022	***	-0.117	0.030	***	-0.264	0.072 ***
配偶状態（ベースは有配偶）								
未婚	0.687	0.015	***	0.695	0.019	***	0.575	0.047 ***
離死別	0.551	0.063	***	0.563	0.071	***	0.455	0.213 *
年（ベースは1988年）								
1989年	0.064	0.034	†	0.081	0.042	†	0.221	0.126 †
1990年	0.022	0.033		0.015	0.042		0.240	0.126 †
1991年	-0.003	0.033		0.051	0.041		-0.026	0.128
1992年	0.078	0.033	*	0.085	0.042	*	0.237	0.123 †
1993年	0.087	0.033	**	0.068	0.042		0.272	0.119 *
1994年	0.022	0.033		0.021	0.042		0.173	0.119
1995年	0.077	0.033	*	0.072	0.042	†	0.165	0.119

（次ページに続く）

1996年	0.109	0.032	**	0.112	0.041	**	0.148	0.118	0.111	0.061	†	
1997年	0.186	0.032	***	0.196	0.041	***	0.354	0.115	**	0.132	0.061	*
1998年	0.219	0.032	***	0.250	0.040	***	0.232	0.117	*	0.169	0.061	**
1999年	0.324	0.031	***	0.390	0.039	***	0.320	0.116	**	0.229	0.060	***
2000年	0.354	0.032	***	0.383	0.040	***	0.392	0.114	**	0.282	0.060	***
2001年	0.433	0.031	***	0.491	0.040	***	0.537	0.111	***	0.278	0.061	***
2002年	0.594	0.042	***	0.665	0.052	***	0.757	0.134	***	0.360	0.084	***
2003年	0.706	0.043	***	0.813	0.053	***	0.629	0.144	***	0.476	0.090	***
2004年	0.642	0.044	***	0.778	0.053	***	0.598	0.150	***	0.313	0.094	**
2005年	0.758	0.044	***	0.889	0.056	***	0.672	0.141	***	0.547	0.084	***
2006年	0.819	0.044	***	0.862	0.056	***	0.928	0.140	***	0.717	0.086	***
2007年	0.836	0.045	***	0.919	0.057	***	0.776	0.142	***	0.708	0.091	***
2008年	0.813	0.045	***	0.913	0.059	***	0.867	0.144	***	0.625	0.087	***
地域(ベースは九州・沖縄)												
北海道	-0.027	0.029		0.016	0.035		-0.220	0.084	**	-0.024	0.064	
東北	-0.226	0.024	***	-0.243	0.029	***	-0.143	0.076	†	-0.170	0.055	**
南関東	-0.298	0.024	***	-0.298	0.030	***	-0.501	0.075	***	-0.162	0.051	**
北関東・長野・山梨	-0.012	0.019		0.075	0.024	**	-0.153	0.057	**	-0.079	0.038	*
北陸	-0.333	0.027	***	-0.329	0.033	***	-0.519	0.085	***	-0.257	0.056	***
東海	-0.311	0.023	***	-0.313	0.028	***	-0.417	0.070	***	-0.248	0.046	***
近畿	-0.052	0.021	*	-0.016	0.026		-0.167	0.065	*	-0.064	0.042	
中国	-0.239	0.026	***	-0.232	0.033	***	-0.464	0.091	***	-0.154	0.054	**
四国	-0.142	0.030	***	-0.121	0.037	**	-0.212	0.092	*	-0.167	0.063	**
定数項	-1.732	0.033	***	-1.870	0.042	***	-1.794	0.121	***	-1.524	0.063	***
$\rho$	0.588		***	0.671		***	0.623		*	0.337		*
対数尤度	-40765			-25113			-4335			-10634		
サンプル数	106919			62692			12229			31998		
非打ち切りサンプル数	12958			8303			1293			3362		

\*\*\*:  $p < 0.001$ , \*\*:  $p < 0.01$ , \*:  $p < 0.05$ , †:  $p < 0.1$ .

表3 男性（正規職就業関数、非正規・無業経験関数に有効求人倍率）

	全サンプル		高校以下		短大・高専		大学・大学院	
	係数	SE	係数	SE	係数	SE	係数	SE
<正規職就業関数>								
学歴(ベース高校以下)								
短大・高専	0.318	0.039 ***						
大学・大学院	0.865	0.034 ***						
年齢(ベースは25-26歳)								
20歳以下	0.423	0.049 ***	0.569	0.054 ***				
21-22歳	0.369	0.039 ***	0.415	0.049 ***	0.988	0.107 ***		
23-24歳	0.380	0.033 ***	0.251	0.050 ***	0.491	0.102 ***	0.576	0.077 ***
27-28歳	-0.378	0.042 ***	-0.114	0.057 *	-0.269	0.141 †	-0.669	0.075 ***
29-30歳	-0.514	0.048 ***	-0.194	0.063 **	-0.474	0.156 **	-0.900	0.093 ***
31-32歳	-0.614	0.053 ***	-0.343	0.069 ***	-0.235	0.159	-0.980	0.107 ***
33-34歳	-0.671	0.056 ***	-0.365	0.069 ***	-0.554	0.192 **	-1.166	0.115 ***
有効求人倍率	0.034	0.039	-0.056	0.044	0.074	0.142	0.246	0.085 **
年(ベースは1988年)								
1989年	0.081	0.069	0.215	0.081 **	0.388	0.248	-0.291	0.141 *
1990年	-0.030	0.070	0.000	0.085	0.405	0.246	-0.195	0.144
1991年	0.155	0.069 *	0.237	0.082 **	0.198	0.264	0.063	0.158
1992年	0.078	0.067	0.121	0.081	0.239	0.251	0.023	0.144
1993年	0.179	0.065 **	0.193	0.079 *	0.295	0.237	0.181	0.138
1994年	-0.071	0.067	-0.178	0.085 *	0.123	0.242	0.160	0.147
1995年	0.057	0.067	0.115	0.081	0.197	0.240	-0.068	0.137
1996年	0.019	0.065	0.006	0.080	0.413	0.236 †	-0.010	0.134
1997年	-0.011	0.064	0.058	0.078	0.180	0.233	-0.148	0.133
1998年	-0.058	0.066	0.026	0.079	0.021	0.242	-0.205	0.138
1999年	-0.094	0.066	-0.028	0.080	-0.081	0.247	-0.129	0.136
2000年	-0.116	0.068 †	-0.034	0.082	0.066	0.246	-0.319	0.137 *
2001年	-0.173	0.069 *	0.015	0.081	-0.180	0.271	-0.474	0.140 **
2002年	-0.247	0.091 **	-0.082	0.109	-0.112	0.322	-0.605	0.189 **
2003年	-0.177	0.093 †	-0.033	0.109	-0.059	0.326	-0.467	0.201 *
2004年	-0.311	0.101 **	-0.083	0.113	-0.383	0.357	-0.799	0.223 ***
2005年	-0.237	0.099 *	-0.056	0.120	-0.150	0.338	-0.649	0.197 **
2006年	-0.232	0.100 *	0.005	0.116	-0.008	0.358	-0.749	0.210 ***
2007年	-0.214	0.103 *	-0.043	0.124	-0.278	0.376	-0.521	0.205 *
2008年	-0.231	0.102 *	0.010	0.121	-0.307	0.388	-0.688	0.198 ***
定数項	-1.592	0.080 ***	-1.779	0.088 ***	-1.703	0.342 ***	-0.230	0.221
<非正規・無業経験関数>								
学歴(ベース高校以下)								
短大・高専	-0.135	0.018 ***						
大学・大学院	0.043	0.013 **						
年齢(ベースは25-26歳)								
20歳以下	0.670	0.025 ***	0.753	0.028 ***				
21-22歳	0.338	0.020 ***	0.389	0.025 ***	0.612	0.057 ***		
23-24歳	0.274	0.018 ***	0.160	0.025 ***	0.252	0.050 ***	0.681	0.033 ***
27-28歳	-0.212	0.019 ***	-0.026	0.027	-0.227	0.060 ***	-0.451	0.032 ***
29-30歳	-0.294	0.021 ***	-0.103	0.028 ***	-0.200	0.063 **	-0.593	0.035 ***
31-32歳	-0.325	0.022 ***	-0.159	0.030 ***	-0.227	0.067 **	-0.591	0.037 ***
33-34歳	-0.322	0.022 ***	-0.118	0.030 ***	-0.263	0.072 ***	-0.665	0.041 ***
有効求人倍率	-0.191	0.025 ***	-0.246	0.031 ***	-0.076	0.079	-0.083	0.051
配偶状態(ベースは有配偶)								
未婚	0.688	0.015 ***	0.694	0.019 ***	0.575	0.047 ***	0.696	0.030 ***
離死別	0.548	0.063 ***	0.558	0.071 ***	0.452	0.212 *	0.343	0.179 †
年(ベースは1988年)								
1989年	0.124	0.034 ***	0.159	0.043 ***	0.244	0.129 †	0.019	0.066
1990年	0.124	0.036 **	0.146	0.045 **	0.276	0.133 *	0.020	0.069
1991年	0.115	0.036 **	0.203	0.045 ***	0.020	0.136	-0.050	0.071
1992年	0.142	0.034 ***	0.171	0.043 ***	0.260	0.127 *	0.045	0.067
1993年	0.079	0.033 *	0.062	0.042	0.267	0.119 *	0.049	0.062
1994年	-0.039	0.034	-0.052	0.043	0.146	0.122	-0.056	0.065

(次ページに続く)

1995年	0.018	0.034		0.001	0.043		0.139	0.121		0.033	0.065
1996年	0.052	0.033		0.042	0.042		0.123	0.120		0.083	0.064
1997年	0.144	0.033	***	0.147	0.041	***	0.335	0.117	**	0.111	0.062 †
1998年	0.152	0.033	***	0.167	0.042	***	0.203	0.120	†	0.138	0.064 *
1999年	0.230	0.034	***	0.272	0.042	***	0.280	0.122	*	0.187	0.065 **
2000年	0.271	0.034	***	0.279	0.043	***	0.356	0.119	**	0.244	0.064 ***
2001年	0.374	0.032	***	0.417	0.041	***	0.512	0.114	***	0.251	0.063 ***
2002年	0.506	0.043	***	0.552	0.054	***	0.721	0.139	***	0.321	0.088 ***
2003年	0.637	0.044	***	0.726	0.054	***	0.600	0.146	***	0.443	0.092 ***
2004年	0.605	0.044	***	0.728	0.054	***	0.582	0.151	***	0.298	0.095 **
2005年	0.748	0.044	***	0.874	0.056	***	0.666	0.141	***	0.544	0.084 ***
2006年	0.834	0.044	***	0.879	0.056	***	0.933	0.140	***	0.725	0.087 ***
2007年	0.851	0.045	***	0.939	0.057	***	0.778	0.142	***	0.717	0.091 ***
2008年	0.816	0.045	***	0.913	0.059	***	0.863	0.144	***	0.629	0.087 ***
地域(ベースは九州・沖縄)											
北海道	-0.036	0.028		0.007	0.034		-0.222	0.083	**	-0.029	0.064
東北	-0.178	0.025	***	-0.182	0.030	***	-0.124	0.079		-0.149	0.056 **
南関東	-0.179	0.028	***	-0.144	0.035	***	-0.455	0.086	***	-0.109	0.059 †
北関東・長野・山梨	0.029	0.019		0.127	0.024	***	-0.137	0.059	*	-0.061	0.039
北陸	-0.228	0.030	***	-0.195	0.037	***	-0.478	0.094	***	-0.210	0.063 **
東海	-0.193	0.027	***	-0.160	0.034	***	-0.371	0.083	***	-0.197	0.054 ***
近畿	-0.032	0.021		0.011	0.026		-0.157	0.065	*	-0.056	0.042
中国	-0.150	0.028	***	-0.117	0.035	**	-0.429	0.098	***	-0.116	0.058 *
四国	-0.082	0.031	**	-0.047	0.038		-0.186	0.095	†	-0.140	0.065 *
定数項	-1.601	0.038	***	-1.703	0.047	***	-1.740	0.133	***	-1.465	0.073 ***
$\rho$	0.608		***	0.700		***	0.632		*	0.335	*
対数尤度	-40734			-25079			-434			-10633	
サンプル数	106919			62692			12229			31998	
非打ち切りサンプル数	12958			8303			1293			3362	

\*\*\*:  $p < 0.001$ , \*\*:  $p < 0.01$ , \*:  $p < 0.05$ , †:  $p < 0.1$ .

表4 未婚女性（有効求人倍率なし）

	全サンプル		高校以下		短大・高専		大学・大学院	
	係数	SE	係数	SE	係数	SE	係数	SE
<正規就業関数>								
学歴(ベース高校以下)								
短大・高専	0.204	0.023	***					
大学・大学院	0.442	0.031	***					
年齢(ベースは25-26歳)								
20歳以下	0.601	0.042	***	0.502	0.050	***		
21-22歳	0.547	0.032	***	0.319	0.049	***	0.896	0.051 ***
23-24歳	0.242	0.030	***	0.112	0.051	*	0.298	0.050 ***
27-28歳	-0.112	0.039	**	-0.029	0.062		-0.078	0.067
29-30歳	-0.154	0.045	**	-0.163	0.073	*	0.034	0.073
31-32歳	-0.285	0.057	***	-0.384	0.096	***	-0.010	0.086
33-34歳	-0.311	0.068	***	-0.308	0.101	**	-0.139	0.111
年(ベースは1988年)								
1989年	0.014	0.054		0.046	0.077		0.082	0.093
1990年	-0.041	0.053		-0.038	0.077		-0.026	0.093
1991年	-0.007	0.054		-0.010	0.076		0.002	0.094
1992年	0.096	0.052	†	0.100	0.077		0.127	0.090
1993年	0.009	0.053		-0.082	0.079		0.071	0.096
1994年	-0.036	0.054		-0.035	0.077		-0.027	0.091
1995年	-0.073	0.053		-0.133	0.080	†	-0.052	0.091
1996年	-0.088	0.054		-0.124	0.080		-0.069	0.090
1997年	-0.070	0.053		-0.045	0.079		-0.138	0.090
1998年	0.039	0.052		0.031	0.077		0.016	0.087
1999年	0.041	0.052		-0.006	0.078		0.100	0.084
2000年	0.049	0.052		-0.039	0.082		0.121	0.085
2001年	0.060	0.052		0.032	0.079		0.043	0.088
2002年	-0.035	0.083		-0.023	0.121		-0.001	0.138
2003年	-0.131	0.091		-0.115	0.132		-0.216	0.163
2004年	0.099	0.081		0.100	0.119		0.084	0.135
2005年	0.126	0.081		0.153	0.119		0.063	0.144
2006年	-0.023	0.088		-0.189	0.144		0.139	0.142
2007年	-0.178	0.105	†	-0.217	0.155		-0.086	0.178
2008年	0.005	0.092		-0.076	0.148		-0.071	0.166
定数項	-1.970	0.046	***	-1.851	0.067	***	-1.915	0.078 ***
<非正規・無業経験関数>								
学歴(ベース高校以下)								
短大・高専	-0.161	0.014	***					
大学・大学院	-0.080	0.020	***					
年齢(ベースは25-26歳)								
20歳以下	0.304	0.027	***	0.289	0.031	***		
21-22歳	0.169	0.020	***	0.067	0.028	*	0.404	0.034 ***
23-24歳	0.028	0.019		-0.016	0.029		0.010	0.031
27-28歳	0.041	0.022	†	0.053	0.034		0.109	0.036 **
29-30歳	0.053	0.025	*	0.074	0.037	*	0.138	0.041 **
31-32歳	0.092	0.028	**	0.095	0.041	*	0.176	0.047 ***
33-34歳	0.116	0.031	***	0.160	0.045	***	0.168	0.055 **
年(ベースは1988年)								
1989年	0.022	0.038		-0.013	0.049		0.084	0.067
1990年	0.024	0.037		0.012	0.048		-0.029	0.066
1991年	0.003	0.037		0.006	0.048		-0.050	0.066
1992年	-0.025	0.038		-0.038	0.049		-0.054	0.066
1993年	-0.016	0.037		0.028	0.049		-0.122	0.067 †
1994年	-0.016	0.037		0.019	0.049		-0.062	0.065
1995年	0.040	0.036		0.082	0.048	†	-0.044	0.064
1996年	0.109	0.036	**	0.146	0.048	**	0.051	0.061
1997年	0.156	0.036	***	0.212	0.048	***	0.046	0.061
1998年	0.196	0.036	***	0.306	0.048	***	0.042	0.062
1999年	0.297	0.035	***	0.388	0.047	***	0.162	0.061 **

(次ページに続く)

2000年	0.396	0.035	***	0.518	0.048	***	0.259	0.060	***	0.242	0.107	*
2001年	0.400	0.035	***	0.551	0.047	***	0.205	0.061	**	0.263	0.105	*
2002年	0.495	0.050	***	0.613	0.069	***	0.377	0.087	***	0.269	0.138	†
2003年	0.647	0.050	***	0.916	0.070	***	0.371	0.091	***	0.253	0.142	†
2004年	0.677	0.051	***	0.907	0.071	***	0.413	0.089	***	0.436	0.139	**
2005年	0.728	0.052	***	1.004	0.075	***	0.459	0.092	***	0.454	0.134	**
2006年	0.656	0.052	***	0.825	0.073	***	0.431	0.094	***	0.565	0.134	***
2007年	0.795	0.054	***	1.009	0.075	***	0.653	0.101	***	0.436	0.142	**
2008年	0.734	0.053	***	1.001	0.078	***	0.498	0.095	***	0.473	0.135	***
地域(ベースは九州・沖縄)												
北海道	-0.019	0.028		0.047	0.037		-0.035	0.050		-0.327	0.097	**
東北	-0.089	0.025	***	-0.098	0.033	**	-0.020	0.046		-0.161	0.077	*
南関東	-0.186	0.025	***	-0.176	0.034	***	-0.176	0.042	***	-0.271	0.077	***
北関東・長野・山梨	0.039	0.020	*	0.157	0.028	***	0.014	0.033		-0.234	0.055	***
北陸	-0.237	0.027	***	-0.237	0.038	***	-0.264	0.046	***	-0.219	0.081	**
東海	-0.157	0.023	***	-0.182	0.033	***	-0.132	0.038	**	-0.159	0.067	*
近畿	0.071	0.021	**	0.124	0.031	***	0.050	0.036		-0.056	0.061	
中国	-0.097	0.027	***	-0.074	0.039	†	-0.113	0.044	**	-0.181	0.074	*
四国	-0.017	0.030		0.038	0.042		-0.069	0.052		-0.090	0.080	
定数項	-0.801	0.034	***	-0.875	0.046	***	-0.913	0.058	***	-0.622	0.104	***
$\rho$	0.984		***	0.914		***	0.978		***	0.996		***
対数尤度	-34400			-18000			-11544			-4512		
サンプル数	51196			26559			18173			6464		
非打ち切りサンプル数	13479			7590			4164			1725		

\*\*\*:  $p < 0.001$ , \*\*:  $p < 0.01$ , \*:  $p < 0.05$ , †:  $p < 0.1$ .

表5 未婚女性（正規職就業関数に有効求人倍率）

	全サンプル		高校以下		短大・高専		大学・大学院	
	係数	SE	係数	SE	係数	SE	係数	SE
<正規職就業関数>								
学歴（ベース高校以下）								
短大・高専	0.204	0.022 ***						
大学・大学院	0.442	0.030 ***						
年齢（ベースは25-26歳）								
20歳以下	0.602	0.041 ***	0.503	0.051 ***				
21-22歳	0.546	0.031 ***	0.324	0.052 ***	0.893	0.050 ***		
23-24歳	0.242	0.029 ***	0.114	0.052 *	0.299	0.050 ***	0.516	0.059 ***
27-28歳	-0.112	0.039 **	-0.031	0.063	-0.079	0.067	-0.313	0.076 ***
29-30歳	-0.154	0.045 **	-0.167	0.075 *	0.032	0.073	-0.532	0.101 ***
31-32歳	-0.285	0.057 ***	-0.390	0.098 ***	-0.009	0.086	-0.688	0.132 ***
33-34歳	-0.311	0.068 ***	-0.312	0.103 **	-0.141	0.111	-0.760	0.167 ***
有効求人倍率	-0.030	0.025	0.033	0.049	-0.051	0.043	-0.025	0.073
年（ベースは1988年）								
1989年	0.022	0.054	0.040	0.079	0.091	0.094	-0.215	0.164
1990年	-0.027	0.054	-0.055	0.082	-0.004	0.095	-0.106	0.154
1991年	0.011	0.055	-0.030	0.082	0.030	0.097	0.025	0.151
1992年	0.106	0.052 *	0.095	0.080	0.139	0.091	0.062	0.151
1993年	0.008	0.053	-0.085	0.081	0.054	0.089	-0.028	0.150
1994年	-0.044	0.054	-0.028	0.080	-0.044	0.092	-0.171	0.157
1995年	-0.081	0.054	-0.130	0.082	-0.072	0.090	-0.095	0.148
1996年	-0.098	0.054 †	-0.122	0.083	-0.087	0.091	-0.273	0.150 †
1997年	-0.076	0.053	-0.048	0.083	-0.152	0.091 †	-0.144	0.147
1998年	0.029	0.052	0.035	0.080	-0.004	0.087	-0.107	0.145
1999年	0.026	0.053	0.000	0.081	0.074	0.087	-0.236	0.149
2000年	0.036	0.053	-0.036	0.086	0.095	0.087	-0.163	0.144
2001年	0.051	0.052	0.031	0.084	0.024	0.088	-0.072	0.139
2002年	-0.049	0.084	-0.018	0.124	-0.028	0.139	-0.464	0.220 *
2003年	-0.143	0.092	-0.114	0.136	-0.237	0.164	-0.320	0.214
2004年	0.092	0.081	0.096	0.123	0.068	0.135	-0.132	0.210
2005年	0.124	0.081	0.141	0.124	0.057	0.144	-0.073	0.190
2006年	-0.022	0.087	-0.203	0.149	0.137	0.142	-0.138	0.198
2007年	-0.175	0.104 †	-0.232	0.158	-0.082	0.178	-0.480	0.248 †
2008年	0.006	0.092	-0.088	0.152	-0.076	0.166	0.073	0.189
定数項	-1.940	0.052 ***	-1.872	0.077 ***	-1.861	0.087 ***	-1.309	0.136 ***
<非正規・無業経験関数>								
学歴（ベース高校以下）								
短大・高専	-0.161	0.014 ***						
大学・大学院	-0.080	0.020 ***						
年齢（ベースは25-26歳）								
20歳以下	0.304	0.027 ***	0.290	0.031 ***				
21-22歳	0.169	0.020 ***	0.067	0.028 *	0.404	0.034 ***		
23-24歳	0.028	0.019	-0.017	0.029	0.010	0.031	0.300	0.047 ***
27-28歳	0.041	0.022 †	0.053	0.034	0.109	0.036 **	-0.112	0.049 *
29-30歳	0.052	0.025 *	0.074	0.037 *	0.138	0.041 **	-0.167	0.057 **
31-32歳	0.092	0.028 **	0.095	0.041 *	0.176	0.047 ***	-0.093	0.065
33-34歳	0.116	0.031 ***	0.160	0.045 ***	0.167	0.055 **	-0.154	0.075 *
年（ベースは1988年）								
1989年	0.022	0.038	-0.013	0.049	0.083	0.067	-0.008	0.121
1990年	0.024	0.037	0.011	0.048	-0.029	0.066	0.169	0.115
1991年	0.003	0.037	0.006	0.048	-0.050	0.066	0.133	0.116
1992年	-0.026	0.038	-0.039	0.049	-0.055	0.066	0.083	0.120
1993年	-0.016	0.037	0.029	0.049	-0.121	0.067 †	0.024	0.118
1994年	-0.016	0.037	0.019	0.049	-0.063	0.065	-0.138	0.120
1995年	0.040	0.036	0.082	0.048 †	-0.043	0.064	0.016	0.114
1996年	0.109	0.036 **	0.146	0.048 **	0.051	0.062	-0.042	0.113
1997年	0.156	0.036 ***	0.212	0.048 ***	0.047	0.061	0.114	0.111
1998年	0.196	0.036 ***	0.306	0.048 ***	0.043	0.062	0.062	0.111

(次ページに続く)

1999年	0.297	0.035	***	0.388	0.047	***	0.163	0.061	**	0.186	0.108	†
2000年	0.396	0.035	***	0.518	0.048	***	0.259	0.060	***	0.243	0.107	*
2001年	0.401	0.035	***	0.551	0.047	***	0.206	0.061	**	0.264	0.105	*
2002年	0.495	0.050	***	0.613	0.069	***	0.377	0.087	***	0.269	0.138	†
2003年	0.647	0.050	***	0.916	0.070	***	0.371	0.091	***	0.254	0.142	†
2004年	0.677	0.051	***	0.906	0.071	***	0.413	0.089	***	0.436	0.139	**
2005年	0.729	0.052	***	1.004	0.075	***	0.459	0.092	***	0.455	0.134	**
2006年	0.657	0.052	***	0.824	0.073	***	0.431	0.094	***	0.566	0.134	***
2007年	0.796	0.054	***	1.009	0.075	***	0.654	0.101	***	0.436	0.141	**
2008年	0.735	0.053	***	1.001	0.078	***	0.498	0.095	***	0.474	0.135	***
地域(ベースは九州・沖縄)												
北海道	-0.018	0.028		0.046	0.038		-0.035	0.049		-0.324	0.096	**
東北	-0.091	0.025	***	-0.097	0.034	**	-0.024	0.046		-0.162	0.077	*
南関東	-0.192	0.025	***	-0.172	0.035	***	-0.186	0.042	***	-0.275	0.078	***
北関東・長野・山梨	0.037	0.020	†	0.159	0.028	***	0.011	0.033		-0.235	0.055	***
北陸	-0.243	0.027	***	-0.234	0.038	***	-0.276	0.048	***	-0.224	0.083	**
東海	-0.163	0.023	***	-0.180	0.034	***	-0.143	0.039	***	-0.163	0.069	*
近畿	0.071	0.021	**	0.125	0.031	***	0.049	0.035		-0.056	0.061	
中国	-0.101	0.027	***	-0.071	0.039	†	-0.120	0.044	**	-0.184	0.075	*
四国	-0.019	0.030		0.040	0.043		-0.075	0.052		-0.092	0.080	
定数項	-0.799	0.034	***	-0.877	0.046	***	-0.908	0.058	***	-0.621	0.104	***
$\rho$	1.000		***	0.879		**	1.000		***	0.998		
対数尤度	-34399			-18000			-11543			-4512		
サンプル数	51196			26559			18173			6464		
非打ち切りサンプル数	13479			7590			4164			1725		

\*\*\*:  $p < 0.001$ , \*\*:  $p < 0.01$ , \*:  $p < 0.05$ , †:  $p < 0.1$ .

表6 未婚女性（正規職就業関数、非正規・無業経験関数に有効求人倍率）

	全サンプル		高校以下		短大・高専		大学・大学院	
	係数	SE	係数	SE	係数	SE	係数	SE
<正規職就業関数>								
学歴（ベース高校以下）								
短大・高専	0.205	0.022 ***						
大学・大学院	0.444	0.030 ***						
年齢（ベースは25-26歳）								
20歳以下	0.604	0.042 ***	0.504	0.050 ***				
21-22歳	0.549	0.031 ***	0.322	0.050 ***	0.894	0.050 ***		
23-24歳	0.244	0.030 ***	0.113	0.052 *	0.300	0.050 ***	0.517	0.059 ***
27-28歳	-0.113	0.039 **	-0.031	0.062	-0.079	0.067	-0.312	0.076 ***
29-30歳	-0.154	0.045 **	-0.167	0.074 *	0.033	0.073	-0.532	0.101 ***
31-32歳	-0.285	0.057 ***	-0.387	0.097 ***	-0.010	0.086	-0.688	0.132 ***
33-34歳	-0.312	0.068 ***	-0.311	0.101 **	-0.141	0.111	-0.761	0.166 ***
有効求人倍率	-0.093	0.030 **	-0.045	0.049	-0.090	0.048 †	-0.065	0.080
年（ベースは1988年）								
1989年	0.041	0.054	0.063	0.078	0.098	0.094	-0.201	0.164
1990年	0.005	0.055	-0.018	0.081	0.014	0.095	-0.083	0.155
1991年	0.046	0.056	0.011	0.081	0.050	0.098	0.050	0.152
1992年	0.126	0.053 *	0.117	0.078	0.149	0.091	0.075	0.151
1993年	0.003	0.053	-0.089	0.079	0.051	0.089	-0.027	0.151
1994年	-0.066	0.054	-0.048	0.079	-0.059	0.092	-0.183	0.158
1995年	-0.099	0.054 †	-0.147	0.081 †	-0.085	0.090	-0.106	0.148
1996年	-0.117	0.054 *	-0.139	0.081 †	-0.101	0.091	-0.284	0.150 †
1997年	-0.089	0.054 †	-0.058	0.080	-0.162	0.091 †	-0.152	0.147
1998年	0.006	0.053	0.013	0.079	-0.019	0.088	-0.120	0.146
1999年	-0.003	0.054	-0.031	0.080	0.055	0.087	-0.253	0.149 †
2000年	0.009	0.054	-0.063	0.083	0.077	0.087	-0.178	0.145
2001年	0.032	0.053	0.015	0.079	0.011	0.088	-0.082	0.139
2002年	-0.079	0.084	-0.047	0.122	-0.047	0.140	-0.482	0.221 *
2003年	-0.168	0.092 †	-0.138	0.133	-0.253	0.164	-0.334	0.215
2004年	0.078	0.082	0.085	0.120	0.059	0.135	-0.138	0.210
2005年	0.122	0.081	0.146	0.119	0.055	0.144	-0.074	0.190
2006年	-0.020	0.088	-0.193	0.144	0.139	0.143	-0.135	0.198
2007年	-0.171	0.105	-0.219	0.155	-0.079	0.178	-0.475	0.248 †
2008年	0.006	0.092	-0.082	0.148	-0.077	0.166	0.080	0.189
定数項	-1.880	0.055 ***	-1.802	0.078 ***	-1.822	0.090 ***	-1.272	0.141 ***
<非正規・無業経験関数>								
学歴（ベース高校以下）								
短大・高専	-0.162	0.014 ***						
大学・大学院	-0.079	0.020 ***						
年齢（ベースは25-26歳）								
20歳以下	0.307	0.027 ***	0.292	0.031 ***				
21-22歳	0.171	0.020 ***	0.068	0.028 *	0.405	0.034 ***		
23-24歳	0.029	0.019	-0.017	0.029	0.011	0.031	0.302	0.047 ***
27-28歳	0.040	0.022 †	0.050	0.034	0.109	0.036 **	-0.110	0.049 *
29-30歳	0.053	0.025 *	0.074	0.037 *	0.138	0.041 **	-0.165	0.057 **
31-32歳	0.092	0.028 **	0.095	0.041 *	0.177	0.047 ***	-0.094	0.065
33-34歳	0.116	0.031 ***	0.159	0.045 ***	0.167	0.055 **	-0.151	0.075 *
有効求人倍率	-0.172	0.027 ***	-0.219	0.036 ***	-0.093	0.046 *	-0.096	0.080
年（ベースは1988年）								
1989年	0.073	0.038 †	0.055	0.050	0.108	0.068	0.022	0.123
1990年	0.111	0.039 **	0.123	0.052 *	0.016	0.070	0.222	0.123 †
1991年	0.105	0.040 **	0.137	0.052 **	0.005	0.071	0.190	0.124
1992年	0.032	0.039	0.036	0.051	-0.025	0.068	0.113	0.122
1993年	-0.024	0.037	0.022	0.049	-0.128	0.067 †	0.018	0.119
1994年	-0.070	0.038 †	-0.046	0.050	-0.094	0.067	-0.169	0.123
1995年	-0.011	0.037	0.021	0.049	-0.073	0.066	-0.017	0.118
1996年	0.059	0.037	0.087	0.049 †	0.021	0.063	-0.072	0.117
1997年	0.120	0.036 **	0.170	0.048 ***	0.025	0.062	0.092	0.113

（次ページに続く）

1998年	0.137	0.037	***	0.233	0.050	***	0.009	0.064		0.028	0.115
1999年	0.216	0.037	***	0.288	0.050	***	0.117	0.065	†	0.139	0.116
2000年	0.320	0.037	***	0.424	0.051	***	0.217	0.064	**	0.200	0.113 †
2001年	0.348	0.036	***	0.486	0.048	***	0.176	0.063	**	0.234	0.109 *
2002年	0.418	0.051	***	0.515	0.070	***	0.334	0.090	***	0.227	0.143
2003年	0.583	0.051	***	0.833	0.071	***	0.337	0.092	***	0.219	0.145
2004年	0.643	0.051	***	0.861	0.072	***	0.394	0.090	***	0.418	0.140 **
2005年	0.721	0.052	***	0.993	0.075	***	0.453	0.092	***	0.453	0.134 **
2006年	0.666	0.052	***	0.834	0.073	***	0.435	0.094	***	0.573	0.134 ***
2007年	0.811	0.054	***	1.029	0.075	***	0.661	0.101	***	0.447	0.142 **
2008年	0.739	0.053	***	1.003	0.078	***	0.498	0.095	***	0.483	0.135 ***
地域(ベースは九州・沖縄)											
北海道	-0.027	0.028		0.033	0.037		-0.038	0.049		-0.328	0.098 **
東北	-0.053	0.026	*	-0.046	0.034		-0.005	0.047		-0.142	0.079 †
南関東	-0.092	0.030	**	-0.037	0.041		-0.134	0.049	**	-0.226	0.089 *
北関東・長野・山梨	0.070	0.020	**	0.201	0.029	***	0.027	0.034		-0.217	0.057 ***
北陸	-0.156	0.030	***	-0.118	0.042	**	-0.232	0.052	***	-0.178	0.091 †
東海	-0.068	0.027	*	-0.051	0.039		-0.094	0.045	*	-0.114	0.080
近畿	0.085	0.021	***	0.143	0.031	***	0.057	0.035		-0.049	0.061
中国	-0.029	0.029		0.025	0.042		-0.082	0.047	†	-0.146	0.081 †
四国	0.030	0.031		0.102	0.044	*	-0.048	0.054		-0.067	0.083
定数項	-0.676	0.039	***	-0.724	0.052	***	-0.840	0.067	***	-0.550	0.120 ***
$\rho$	0.978		***	0.895		***	1.000		***	0.995	*
対数尤度	-34377			-17980			-11541			-4511	
サンプル数	51196			26559			18173			6464	
非打ち切りサンプル数	13479			7590			4164			1725	

\*\*\*:  $p < 0.001$ , \*\*:  $p < 0.01$ , \*:  $p < 0.05$ , †:  $p < 0.1$ .

表7 基本統計量（男性）

	全サンプル(106919)				高校以下(62692)				短大・高専(12229)				大学・大学院(31998)			
	平均	標準偏差	最小	最大	平均	標準偏差	最小	最大	平均	標準偏差	最小	最大	平均	標準偏差	最小	最大
非正規・無業経験	0.121	0.326	0	1	0.132	0.339	0	1	0.106	0.308	0	1	0.105	0.307	0	1
学歴																
高校以下	0.586	0.492	0	1												
短大・高専	0.114	0.318	0	1												
大学・大学院	0.299	0.458	0	1												
年齢																
20歳以下	0.038	0.191	0	1	0.065	0.246	0	1								
21-22歳	0.081	0.272	0	1	0.120	0.326	0	1	0.087	0.281	0	1				
23-24歳	0.115	0.319	0	1	0.125	0.330	0	1	0.171	0.377	0	1	0.075	0.263	0	1
25-26歳	0.149	0.356	0	1	0.132	0.339	0	1	0.164	0.370	0	1	0.176	0.381	0	1
27-28歳	0.152	0.359	0	1	0.136	0.343	0	1	0.156	0.363	0	1	0.182	0.386	0	1
29-30歳	0.152	0.359	0	1	0.136	0.343	0	1	0.148	0.355	0	1	0.185	0.388	0	1
31-32歳	0.155	0.362	0	1	0.140	0.347	0	1	0.142	0.349	0	1	0.190	0.392	0	1
33-34歳	0.158	0.365	0	1	0.146	0.353	0	1	0.133	0.339	0	1	0.192	0.394	0	1
有効求人倍率	0.930	0.493	0.18	2.77	0.940	0.497	0.18	2.77	0.884	0.474	0.18	2.77	0.930	0.492	0.18	2.77
年																
1988年	0.064	0.246	0	1	0.069	0.253	0	1	0.041	0.199	0	1	0.065	0.247	0	1
1989年	0.065	0.246	0	1	0.066	0.248	0	1	0.049	0.216	0	1	0.069	0.253	0	1
1990年	0.068	0.252	0	1	0.070	0.255	0	1	0.052	0.222	0	1	0.072	0.258	0	1
1991年	0.069	0.253	0	1	0.070	0.255	0	1	0.059	0.236	0	1	0.070	0.256	0	1
1992年	0.062	0.241	0	1	0.063	0.243	0	1	0.055	0.228	0	1	0.062	0.242	0	1
1993年	0.063	0.244	0	1	0.064	0.244	0	1	0.059	0.235	0	1	0.065	0.247	0	1
1994年	0.066	0.248	0	1	0.066	0.248	0	1	0.065	0.246	0	1	0.065	0.247	0	1
1995年	0.063	0.243	0	1	0.063	0.243	0	1	0.065	0.246	0	1	0.062	0.242	0	1
1996年	0.066	0.248	0	1	0.066	0.249	0	1	0.069	0.253	0	1	0.065	0.246	0	1
1997年	0.064	0.244	0	1	0.063	0.242	0	1	0.070	0.255	0	1	0.063	0.243	0	1
1998年	0.062	0.242	0	1	0.062	0.242	0	1	0.068	0.252	0	1	0.060	0.237	0	1
1999年	0.063	0.244	0	1	0.062	0.242	0	1	0.069	0.254	0	1	0.064	0.244	0	1
2000年	0.060	0.238	0	1	0.058	0.234	0	1	0.073	0.260	0	1	0.061	0.238	0	1
2001年	0.059	0.235	0	1	0.056	0.229	0	1	0.077	0.267	0	1	0.058	0.233	0	1
2002年	0.018	0.133	0	1	0.018	0.133	0	1	0.022	0.146	0	1	0.017	0.129	0	1
2003年	0.016	0.125	0	1	0.016	0.127	0	1	0.019	0.136	0	1	0.014	0.117	0	1
2004年	0.016	0.126	0	1	0.017	0.128	0	1	0.018	0.134	0	1	0.014	0.117	0	1
2005年	0.015	0.120	0	1	0.014	0.115	0	1	0.019	0.137	0	1	0.015	0.122	0	1
2006年	0.014	0.118	0	1	0.014	0.117	0	1	0.017	0.129	0	1	0.013	0.114	0	1
2007年	0.014	0.116	0	1	0.013	0.114	0	1	0.018	0.132	0	1	0.013	0.111	0	1
2008年	0.013	0.112	0	1	0.012	0.108	0	1	0.016	0.127	0	1	0.013	0.114	0	1

(次ページに続く)

配偶状態	有配偶	0.599	0.490	0	1	0.610	0.488	0	1	0.628	0.483	0	1	0.566	0.496	0	1
	未婚	0.393	0.489	0	1	0.381	0.486	0	1	0.366	0.482	0	1	0.429	0.495	0	1
	離死別	0.008	0.087	0	1	0.009	0.096	0	1	0.006	0.079	0	1	0.005	0.071	0	1
地域	北海道	0.045	0.208	0	1	0.049	0.216	0	1	0.053	0.223	0	1	0.036	0.185	0	1
	東北	0.088	0.283	0	1	0.106	0.308	0	1	0.069	0.253	0	1	0.060	0.237	0	1
	南関東	0.095	0.293	0	1	0.103	0.304	0	1	0.105	0.307	0	1	0.076	0.265	0	1
	北関東・長野・山梨	0.227	0.419	0	1	0.184	0.388	0	1	0.263	0.440	0	1	0.295	0.456	0	1
	北陸	0.068	0.252	0	1	0.073	0.260	0	1	0.071	0.258	0	1	0.057	0.233	0	1
	東海	0.126	0.332	0	1	0.128	0.334	0	1	0.124	0.329	0	1	0.125	0.330	0	1
	近畿	0.136	0.343	0	1	0.130	0.337	0	1	0.128	0.335	0	1	0.151	0.358	0	1
	中国	0.067	0.251	0	1	0.071	0.256	0	1	0.059	0.235	0	1	0.064	0.245	0	1
	四国	0.045	0.208	0	1	0.047	0.212	0	1	0.042	0.200	0	1	0.042	0.201	0	1
	九州・沖縄	0.102	0.302	0	1	0.108	0.310	0	1	0.086	0.281	0	1	0.095	0.293	0	1

表 8 基本統計量（女性）

	全サンプル(51196)				高校以下(26559)				短大・高専(18173)				大学・大学院(6464)			
	平均	標準偏差	最小	最大	平均	標準偏差	最小	最大	平均	標準偏差	最小	最大	平均	標準偏差	最小	最大
非正規・無業経験	0.263	0.440	0	1	0.286	0.452	0	1	0.229	0.420	0	1	0.267	0.442	0	1
学歴																
高校以下	0.519	0.500	0	1												
短大・高専	0.355	0.479	0	1												
大学・大学院	0.126	0.332	0	1												
年齢																
20歳以下	0.069	0.253	0	1	0.133	0.340	0	1								
21-22歳	0.177	0.382	0	1	0.231	0.422	0	1	0.161	0.368	0	1				
23-24歳	0.234	0.423	0	1	0.201	0.401	0	1	0.296	0.456	0	1	0.196	0.397	0	1
25-26歳	0.193	0.394	0	1	0.152	0.359	0	1	0.210	0.407	0	1	0.310	0.463	0	1
27-28歳	0.129	0.336	0	1	0.104	0.306	0	1	0.139	0.346	0	1	0.205	0.404	0	1
29-30歳	0.089	0.285	0	1	0.078	0.268	0	1	0.091	0.288	0	1	0.132	0.339	0	1
31-32歳	0.063	0.243	0	1	0.057	0.232	0	1	0.061	0.240	0	1	0.091	0.288	0	1
33-34歳	0.046	0.208	0	1	0.044	0.204	0	1	0.042	0.200	0	1	0.065	0.246	0	1
有効求人倍率	0.891	0.472	0.18	2.77	0.920	0.489	0.18	2.77	0.863	0.455	0.18	2.77	0.850	0.438	0.18	2.77
年																
1988年	0.055	0.228	0	1	0.063	0.243	0	1	0.049	0.217	0	1	0.038	0.191	0	1
1989年	0.058	0.234	0	1	0.066	0.248	0	1	0.051	0.219	0	1	0.045	0.208	0	1
1990年	0.061	0.239	0	1	0.067	0.250	0	1	0.056	0.229	0	1	0.051	0.221	0	1
1991年	0.063	0.244	0	1	0.070	0.255	0	1	0.058	0.233	0	1	0.053	0.224	0	1
1992年	0.059	0.236	0	1	0.065	0.246	0	1	0.055	0.228	0	1	0.046	0.210	0	1
1993年	0.060	0.238	0	1	0.065	0.247	0	1	0.057	0.232	0	1	0.050	0.219	0	1
1994年	0.062	0.241	0	1	0.065	0.246	0	1	0.062	0.241	0	1	0.051	0.220	0	1
1995年	0.064	0.245	0	1	0.065	0.247	0	1	0.064	0.245	0	1	0.060	0.237	0	1
1996年	0.068	0.252	0	1	0.066	0.249	0	1	0.073	0.260	0	1	0.061	0.240	0	1
1997年	0.068	0.252	0	1	0.063	0.244	0	1	0.076	0.265	0	1	0.065	0.246	0	1
1998年	0.066	0.248	0	1	0.061	0.239	0	1	0.073	0.260	0	1	0.068	0.252	0	1
1999年	0.068	0.252	0	1	0.062	0.241	0	1	0.075	0.263	0	1	0.073	0.261	0	1
2000年	0.066	0.248	0	1	0.057	0.232	0	1	0.075	0.263	0	1	0.080	0.271	0	1
2001年	0.069	0.253	0	1	0.061	0.239	0	1	0.073	0.260	0	1	0.089	0.285	0	1
2002年	0.018	0.134	0	1	0.017	0.131	0	1	0.018	0.132	0	1	0.024	0.154	0	1
2003年	0.017	0.129	0	1	0.016	0.127	0	1	0.016	0.125	0	1	0.022	0.148	0	1
2004年	0.017	0.129	0	1	0.016	0.125	0	1	0.017	0.127	0	1	0.023	0.151	0	1
2005年	0.016	0.124	0	1	0.014	0.116	0	1	0.015	0.122	0	1	0.026	0.158	0	1
2006年	0.016	0.125	0	1	0.014	0.120	0	1	0.015	0.120	0	1	0.025	0.156	0	1
2007年	0.014	0.117	0	1	0.014	0.116	0	1	0.011	0.106	0	1	0.022	0.148	0	1
2008年	0.015	0.120	0	1	0.012	0.110	0	1	0.014	0.116	0	1	0.026	0.159	0	1

(次ページに続く)

地域	北海道	0.056	0.231	0	1	0.067	0.250	0	1	0.050	0.218	0	1	0.031	0.173	0	1
	東北	0.081	0.272	0	1	0.100	0.300	0	1	0.060	0.237	0	1	0.058	0.234	0	1
	南関東	0.089	0.284	0	1	0.096	0.295	0	1	0.086	0.281	0	1	0.065	0.247	0	1
	北関東・長野・山梨	0.222	0.416	0	1	0.187	0.390	0	1	0.241	0.427	0	1	0.315	0.464	0	1
	北陸	0.063	0.242	0	1	0.070	0.255	0	1	0.057	0.232	0	1	0.049	0.216	0	1
	東海	0.115	0.319	0	1	0.118	0.322	0	1	0.117	0.322	0	1	0.099	0.299	0	1
	近畿	0.144	0.351	0	1	0.130	0.336	0	1	0.157	0.364	0	1	0.166	0.372	0	1
	中国	0.066	0.248	0	1	0.060	0.238	0	1	0.072	0.258	0	1	0.071	0.257	0	1
	四国	0.046	0.209	0	1	0.046	0.209	0	1	0.044	0.205	0	1	0.052	0.221	0	1
	九州・沖縄	0.118	0.323	0	1	0.126	0.332	0	1	0.116	0.320	0	1	0.094	0.292	0	1

表9 基本統計量（男性、非正規・無業経験者のみ）

		全サンプル(12958)				高校以下(8303)				短大・高専(1293)				大学・大学院(3362)			
		平均	標準偏差	最小	最大	平均	標準偏差	最小	最大	平均	標準偏差	最小	最大	平均	標準偏差	最小	最大
正規職就業		0.311	0.463	0	1	0.212	0.409	0	1	0.351	0.478	0	1	0.538	0.499	0	1
学歴	高校以下	0.641	0.480	0	1												
	短大・高専	0.100	0.300	0	1												
	大学・大学院	0.259	0.438	0	1												
	20歳以下	0.113	0.317	0	1	0.177	0.382	0	1								
	21-22歳	0.159	0.366	0	1	0.212	0.409	0	1	0.230	0.421	0	1				
	23-24歳	0.209	0.406	0	1	0.157	0.364	0	1	0.280	0.449	0	1	0.310	0.462	0	1
	25-26歳	0.178	0.382	0	1	0.122	0.327	0	1	0.170	0.376	0	1	0.318	0.466	0	1
	27-28歳	0.114	0.318	0	1	0.105	0.306	0	1	0.100	0.300	0	1	0.143	0.350	0	1
	29-30歳	0.087	0.281	0	1	0.084	0.278	0	1	0.088	0.284	0	1	0.092	0.289	0	1
	31-32歳	0.073	0.260	0	1	0.071	0.257	0	1	0.073	0.261	0	1	0.078	0.268	0	1
	33-34歳	0.067	0.251	0	1	0.072	0.259	0	1	0.059	0.235	0	1	0.059	0.237	0	1
有効求人倍率		0.832	0.435	0.18	2.77	0.829	0.434	0.18	2.77	0.791	0.416	0.18	2.77	0.855	0.443	0.18	2.77
年	1988年	0.043	0.202	0	1	0.044	0.204	0	1	0.022	0.148	0	1	0.048	0.214	0	1
	1989年	0.048	0.214	0	1	0.048	0.213	0	1	0.039	0.195	0	1	0.052	0.222	0	1
	1990年	0.048	0.214	0	1	0.047	0.213	0	1	0.040	0.197	0	1	0.054	0.225	0	1
	1991年	0.049	0.216	0	1	0.053	0.223	0	1	0.033	0.179	0	1	0.047	0.211	0	1
	1992年	0.051	0.221	0	1	0.052	0.222	0	1	0.045	0.207	0	1	0.051	0.221	0	1
	1993年	0.053	0.225	0	1	0.050	0.218	0	1	0.056	0.231	0	1	0.060	0.238	0	1
	1994年	0.050	0.218	0	1	0.048	0.214	0	1	0.055	0.228	0	1	0.052	0.222	0	1
	1995年	0.051	0.221	0	1	0.049	0.216	0	1	0.053	0.225	0	1	0.057	0.232	0	1
	1996年	0.058	0.234	0	1	0.056	0.230	0	1	0.056	0.231	0	1	0.064	0.244	0	1
	1997年	0.063	0.243	0	1	0.060	0.238	0	1	0.075	0.264	0	1	0.064	0.245	0	1
	1998年	0.064	0.244	0	1	0.064	0.245	0	1	0.060	0.237	0	1	0.064	0.245	0	1
	1999年	0.073	0.261	0	1	0.074	0.262	0	1	0.068	0.252	0	1	0.074	0.261	0	1
	2000年	0.070	0.255	0	1	0.066	0.248	0	1	0.077	0.266	0	1	0.078	0.268	0	1
	2001年	0.077	0.267	0	1	0.076	0.265	0	1	0.102	0.303	0	1	0.070	0.255	0	1
	2002年	0.030	0.171	0	1	0.031	0.174	0	1	0.040	0.197	0	1	0.024	0.154	0	1
	2003年	0.029	0.169	0	1	0.032	0.177	0	1	0.027	0.162	0	1	0.022	0.148	0	1
	2004年	0.028	0.164	0	1	0.033	0.178	0	1	0.024	0.153	0	1	0.017	0.130	0	1
	2005年	0.028	0.166	0	1	0.030	0.170	0	1	0.029	0.169	0	1	0.025	0.156	0	1
	2006年	0.030	0.170	0	1	0.030	0.169	0	1	0.036	0.187	0	1	0.027	0.163	0	1
	2007年	0.028	0.166	0	1	0.030	0.170	0	1	0.031	0.173	0	1	0.024	0.152	0	1
	2008年	0.027	0.163	0	1	0.027	0.163	0	1	0.029	0.169	0	1	0.026	0.161	0	1

(次ページに続く)

配偶状態	有配偶	0.890	0.312	0	1	0.885	0.319	0	1	0.884	0.320	0	1	0.906	0.291	0	1
	未婚	0.103	0.304	0	1	0.107	0.309	0	1	0.111	0.315	0	1	0.092	0.289	0	1
	離死別	0.006	0.079	0	1	0.008	0.090	0	1	0.005	0.068	0	1	0.002	0.046	0	1
地域	北海道	0.052	0.222	0	1	0.057	0.232	0	1	0.056	0.231	0	1	0.037	0.189	0	1
	東北	0.075	0.264	0	1	0.084	0.277	0	1	0.075	0.264	0	1	0.054	0.227	0	1
	南関東	0.075	0.263	0	1	0.078	0.268	0	1	0.071	0.257	0	1	0.069	0.254	0	1
	北関東・長野・山梨	0.269	0.444	0	1	0.243	0.429	0	1	0.306	0.461	0	1	0.321	0.467	0	1
	北陸	0.052	0.222	0	1	0.054	0.225	0	1	0.045	0.207	0	1	0.050	0.218	0	1
	東海	0.097	0.296	0	1	0.096	0.294	0	1	0.094	0.291	0	1	0.102	0.302	0	1
	近畿	0.152	0.359	0	1	0.151	0.358	0	1	0.144	0.351	0	1	0.160	0.367	0	1
	中国	0.058	0.234	0	1	0.060	0.237	0	1	0.039	0.195	0	1	0.061	0.239	0	1
	四国	0.042	0.200	0	1	0.044	0.206	0	1	0.041	0.198	0	1	0.035	0.185	0	1
	九州・沖縄	0.127	0.334	0	1	0.134	0.341	0	1	0.128	0.335	0	1	0.110	0.313	0	1

表 10 基本統計量（女性、非正規・無業経験者のみ）

		全サンプル(13479)				高校以下(7590)				短大・高専(4164)				大学・大学院(1725)			
		平均	標準偏差	最小	最大	平均	標準偏差	最小	最大	平均	標準偏差	最小	最大	平均	標準偏差	最小	最大
正規職就業		0.194	0.395	0	1	0.150	0.357	0	1	0.245	0.430	0	1	0.263	0.440	0	1
学歴	高校以下	0.563	0.496	0	1												
	短大・高専	0.309	0.462	0	1												
	大学・大学院	0.128	0.334	0	1												
	20歳以下	0.091	0.288	0	1	0.162	0.368	0	1								
	21-22歳	0.190	0.392	0	1	0.216	0.412	0	1	0.219	0.414	0	1				
	23-24歳	0.208	0.406	0	1	0.174	0.379	0	1	0.247	0.431	0	1	0.267	0.443	0	1
	25-26歳	0.172	0.377	0	1	0.139	0.346	0	1	0.177	0.382	0	1	0.306	0.461	0	1
	27-28歳	0.126	0.331	0	1	0.106	0.307	0	1	0.140	0.347	0	1	0.180	0.385	0	1
	29-30歳	0.091	0.288	0	1	0.084	0.277	0	1	0.098	0.297	0	1	0.109	0.312	0	1
	31-32歳	0.070	0.254	0	1	0.066	0.248	0	1	0.071	0.257	0	1	0.083	0.276	0	1
	33-34歳	0.053	0.223	0	1	0.054	0.227	0	1	0.048	0.214	0	1	0.054	0.227	0	1
有効求人倍率		0.823	0.431	0.18	2.77	0.824	0.430	0.18	2.77	0.813	0.433	0.18	2.77	0.839	0.433	0.18	2.77
年	1988年	0.044	0.205	0	1	0.046	0.210	0	1	0.044	0.206	0	1	0.032	0.176	0	1
	1989年	0.047	0.212	0	1	0.048	0.214	0	1	0.049	0.216	0	1	0.038	0.190	0	1
	1990年	0.050	0.217	0	1	0.050	0.218	0	1	0.048	0.213	0	1	0.053	0.224	0	1
	1991年	0.050	0.218	0	1	0.052	0.221	0	1	0.047	0.212	0	1	0.051	0.220	0	1
	1992年	0.045	0.208	0	1	0.045	0.208	0	1	0.046	0.209	0	1	0.043	0.203	0	1
	1993年	0.047	0.212	0	1	0.050	0.219	0	1	0.043	0.202	0	1	0.043	0.203	0	1
	1994年	0.048	0.213	0	1	0.049	0.216	0	1	0.051	0.219	0	1	0.035	0.183	0	1
	1995年	0.053	0.223	0	1	0.053	0.224	0	1	0.053	0.225	0	1	0.050	0.218	0	1
	1996年	0.061	0.238	0	1	0.058	0.234	0	1	0.070	0.255	0	1	0.049	0.217	0	1
	1997年	0.064	0.245	0	1	0.061	0.239	0	1	0.070	0.256	0	1	0.062	0.241	0	1
	1998年	0.065	0.247	0	1	0.065	0.246	0	1	0.067	0.250	0	1	0.062	0.241	0	1
	1999年	0.076	0.265	0	1	0.073	0.260	0	1	0.081	0.272	0	1	0.077	0.266	0	1
	2000年	0.081	0.273	0	1	0.075	0.263	0	1	0.090	0.287	0	1	0.087	0.282	0	1
	2001年	0.085	0.279	0	1	0.084	0.277	0	1	0.082	0.275	0	1	0.099	0.298	0	1
	2002年	0.026	0.158	0	1	0.026	0.158	0	1	0.025	0.155	0	1	0.028	0.165	0	1
	2003年	0.027	0.163	0	1	0.031	0.173	0	1	0.022	0.147	0	1	0.025	0.156	0	1
	2004年	0.028	0.165	0	1	0.030	0.170	0	1	0.024	0.154	0	1	0.031	0.173	0	1
	2005年	0.027	0.163	0	1	0.028	0.164	0	1	0.023	0.151	0	1	0.035	0.185	0	1
	2006年	0.026	0.158	0	1	0.026	0.158	0	1	0.021	0.144	0	1	0.038	0.190	0	1
	2007年	0.026	0.158	0	1	0.027	0.163	0	1	0.021	0.144	0	1	0.029	0.168	0	1
	2008年	0.025	0.157	0	1	0.025	0.155	0	1	0.022	0.147	0	1	0.035	0.185	0	1

(次ページに続く)

地域	北海道	0.061	0.239	0	1	0.072	0.258	0	1	0.055	0.228	0	1	0.028	0.166	0	1
	東北	0.078	0.269	0	1	0.091	0.288	0	1	0.063	0.243	0	1	0.059	0.235	0	1
	南関東	0.073	0.261	0	1	0.079	0.269	0	1	0.069	0.253	0	1	0.060	0.238	0	1
	北関東・長野・山梨	0.241	0.428	0	1	0.221	0.415	0	1	0.257	0.437	0	1	0.293	0.455	0	1
	北陸	0.049	0.217	0	1	0.055	0.228	0	1	0.040	0.196	0	1	0.049	0.215	0	1
	東海	0.098	0.298	0	1	0.095	0.293	0	1	0.105	0.307	0	1	0.098	0.297	0	1
	近畿	0.160	0.366	0	1	0.149	0.356	0	1	0.172	0.377	0	1	0.180	0.385	0	1
	中国	0.063	0.243	0	1	0.058	0.233	0	1	0.069	0.253	0	1	0.071	0.256	0	1
	四国	0.047	0.213	0	1	0.048	0.215	0	1	0.044	0.206	0	1	0.052	0.221	0	1
	九州・沖縄	0.128	0.334	0	1	0.133	0.340	0	1	0.126	0.332	0	1	0.111	0.314	0	1

## Abstract

The paper investigates the Japanese youth's regular/non-regular employment and unemployment. We find mainly following three results using the Special Survey of the Labour Force Survey (1988-2001) and the Labour Force Survey (2002-2008). (1) The difference in experience rate of non-regular employment and unemployment between education level has been increasing. (2) However, the difference in transfer probability of non-regular employment and unemployment to regular employment between education level has been decreasing. (3) The transfer probability of non-regular employment and unemployment to regular employment in men who graduated from college or university (including graduate school) has been significantly decreasing.

Keyword: Experience of Non-Regular Employment and Unemployment, Transfer to Regular Employment, Sample Selection Probit